

保証書 (持込修理)

本書は、本書記載内容(下記規定)で、無料修理を行うことを、お約束するものです。
保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品 番 BDR-2 WiFi	
S/No.	
お買い上げ日	年 月 日 お買い上げ年月日の記載がない場合、無料修理規定外となります。
保証期間	対象部分 機器本体(消耗部品は除く) お買い上げの日から1年
お客様 お名前 ご住所 〒 TEL ()	様
販売店 店名・住所	上欄に記入または捺印のない場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。

<無料修理規定>

1. 本書記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本体及び本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居で贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
 - (ニ) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障及び損傷
 - (ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合
 - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合

- (チ) 同梱品や消耗品等の消耗による交換
5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

故障内容記入欄

※本書を紛失しないよう大切に保管してください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

BIKE専用ドライブレコーダー BDR-2 WiFi

取扱説明書

12V、24V車対応



このたびは、弊社製品のドライブレコーダーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本機は、専用ソフトとスマートフォンアプリで本機の設定をすることができ、録画ファイルを専用ソフトとスマートフォンアプリで確認することができます。

⚠ 注意

- ・事故発生時は記録された録画ファイルが上書きされないように、必ず電源 OFF になっているのを確認した後、SD カードを抜いて保管してください。
- ・電源 ON の状態で SD カードの抜き差しを行わないでください。SD カード破損の原因となります。必ず、電源 OFF 後ランプが 3 秒以上消灯したことを確認し、SD カードの抜き差しを行ってください。

！

ご注意

SD カードは、
数カ月に一度
フォーマットが必要
です。

SD カードは、データの記録が
繰り返されると、録画可能時間
が減少したり、データの読み込
みや書き込みに時間がかかった
りします。
安定してお使いいただくため
に、数カ月に一度、SD カード
のフォーマットを行うことを
お勧めします。

17
ページ

すぐに使う

44
ページ

SDカードを
フォーマットする

57
ページ

確認とご注意	
安全上のご注意	4
使用上のご注意	9
各部の名称と働き	11
1. 同梱品	12
2. 別売品	12
充電について	13
1. 内部電池を充電する	13
2. 電池残量アイコンについて	13
SD カードの装着 / 取り外し	14
1. SD カードを本機に挿入する	14
2. SD カードを本機から取り外す	15
もし事故が起きたら・・・	16

すぐに使う	
取り付けかた	17
1. 本機の取り付け	17
2. 接続方法	18
電源 ON ～ OFF について	19
1. 電源 ON(録画を開始する)	19

2. 電源 OFF(録画を停止する)	20
専用アプリで再生する	21
1. アプリのインストール	21
2. 無線 LAN を ON する	21
3. スマートフォンに接続する	21
4. 録画ファイルを再生する	22
5. 無線 LAN を OFF する	23
メンテナンスについて	24
初期設定について	25

基礎知識	
録画について	26
1. 常時録画	26
2. イベント記録 (ワンタッチ記録 (手動録画))	27
3. 上書きモードについて	27
4. 本機ランプについて	27

専用ソフト	
専用ソフトについて	29
1. インストールの準備	29
2. 専用ソフトをインストールする	29
3. 専用ソフトをバックアップ (コピー) する	32

おすすめピックアップ

21
ページ

録画
ファイル
を
専用
アプリ
で
再生
する

26
ページ

録
画
に
つ
い
て

60
ページ

こ
ん
な
と
き
は

16
ページ

事
故
が
発
生
し
た
ら
ど
う
す
る
の
？

4. 録画ファイルの準備	32
5. 画面説明	34
録画ファイルを再生する	36
記録した録画ファイルを保存する	38
1. 静止画変換	38
2. バックアップ	39

Google Earth 用のデータに変換する	40
専用ソフトの設定を変更する	42
1. 記録設定	42
2. 日時設定	44
3. SD カードフォーマット	44
4. 録画ファイル削除	45
5. 記録設定データ初期化	46
6. 専用ソフトを終了する	47
インフォメーション	47

専用アプリ	
専用アプリについて	48
1. ライブ映像画面	48
2. スマートフォンへ録画ファイルを保存する	49
3. 本機に録画ファイルを保存する	49
録画ファイルを再生する	50

1. アルバムモード画面	50
2. 録画ファイルを再生する	51
録画ファイル进行操作する	52
1. ファイルをコピーする	52
2. ファイルを削除する	53
専用アプリで本機の設定を変更する	54
1. 設定を変更する	54
2. 履歴記録時間を変更する	56
3. SD カード容量の割り当てを変更する	56
4. SD カードフォーマット	57
5. 設定初期化	57

その他	
録画ファイルの読み出しについて	58
故障かな？と思ったら	60
エラー表示一覧	62
仕様	64
SD カード対応一覧表	65
1. 録画時間の目安	65
2. イベント記録の最大記録件数	65
アフターサービス	66
保証書	裏表紙

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

- 危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を次の表示で区分し、説明しています。

- ⚠ 危険：**「死亡または重傷を負う恐れが大きい」内容です。
- ⚠ 警告：**「死亡または重傷を負う恐れがある」内容です。
- ⚠ 注意：**「軽傷を負うことや物的損害が発生する恐れがある」内容です。

絵表示について

- !** 必ず実行していただく「強制」内容です。
- ⊘** してはいけない「禁止」内容です。
- ⚠** 気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
- 🔗** 関連するページを示します。

● 安全上お守りいただきたいこと

⚠ 警告

- !** 異常・故障・破損時はすぐに使用を中止してください。

そのまま使用すると、火災や発火、感電の恐れがあります。

＜異常な状態の例＞

- ・ 内部に異物が入った
- ・ 水に浸かった
- ・ 煙が出ている
- ・ 変な臭いがする

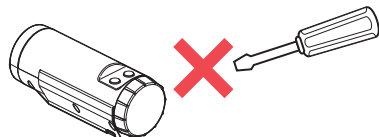
すぐに使用を中止し、電源コードを外して、お買い上げの販売店またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。

● P. 66「アフターサービス」

- !** 本機を長時間使用しない場合、本体から電源コードを外してください。車両バッテリーの放電や火災の原因となります。

- ⊘** サービスマン以外の方は、絶対に機器本体および同梱品を分解したり、修理しないでください。

感電や故障の原因となります。内部点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。



- ⊘** 本機を次のような場所に保管しないでください。

変色や変形、故障の原因となります。

- ・ 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所
- ・ 湿気やほこり、油煙の多い所

- !** 心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様は、医療用機器への影響を医療用電気機器製造業者や担当医師にご確認ください。

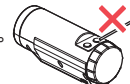
- !** 持病をお持ちの方や妊娠の可能性がある、もしくは妊娠されている方は、本機を使用される前に医師にご相談ください。

- ⊘** 本機を火の中、電子レンジ、オーブンや高圧容器に入れたり、加熱したりしないでください。

破裂、発火や火傷の原因となります。

- ⊘** 穴やすき間にピンや針金等の金属を入れないでください。

感電や故障の原因となります。



- ⊘** 病院内や航空機内など、使用が禁止されている場所では使用しないでください。

電子機器などが誤作動する恐れがあり、重大な事故の原因となります。

- ⊘** 本機を可燃性ガスの多い環境では使用しないでください。

爆発や火災の原因となります。

- ⚠** SD カードおよびその他の同梱品は、子供の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んでしまう恐れがあります。

⚠ 注意

- ⊘** 結露したまま使い続けしないでください。故障や発熱などの原因となります。(気温の低いところから高いところへ移動すると、本機内に結露が生じることがあります。)

- ⊘** 濡れた手で操作しないでください。感電の原因となります。



- ⊘** 落としたり、強いショックを与えないでください。破損、故障の原因となります。

- ⊘** 各端子に異物が入らないように、取り扱いにご注意ください。故障の原因となります。

- ⊘** 本体の近くに磁石などの磁気を帯びた素材を置かないでください。故障の原因となります。

- ⚠** 本機は精密機械です。

静電気 / 電氣的ノイズ等でデータが消えることがあります。データが消えると作動しません。

● 取り付けについて

⚠ 警告

- !** 取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、車両の機能(ブレーキ、ハンドル等)の妨げにならない場所に取り付けてください。誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

⚠ 注意

- !** 取り付けは確実に行ってください。また定期的に点検を行ってください。本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

- !** 突起部分などにご注意ください。取り付けや取り外しの際、突起部分などでケガをする恐れがあります。

● 電源コードについて

⚠ 警告

- ❗ 電源コードは確実に接続してください。
接触不良を起こして火災の原因となります。

- ❗ 指定以外のヒューズは使用しないでください。
指定以外のヒューズを使用すると異常過熱や発火の原因となります。ヒューズは必ず同一の定格のものと交換してください。



● 内蔵リチウムイオン電池について

⚠ 危険

- ❗ リチウムイオン電池を分解したり、改造したりしないでください。
リチウムイオン電池が液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。

- ❗ 火のそばや炎天下などでの充電や放置はしないでください。
リチウムイオン電池内部で異常な化学反応が起こり、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

- ❗ リチウムイオン電池を火のそば、ストーブのそばなどの高温の場所(80℃以上)で使用したり、放置しないでください。

熱により樹脂セパレータが損傷した場合、リチウムイオン電池が内部ショートし液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。

- ❗ 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
リチウムイオン電池を液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火させる原因となる恐れがあります。

- ❗ リチウムイオン電池を火の中に投入したり、加熱しないでください。

絶縁物が溶けたり、電解液に引火したりして、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

- ❗ 釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

リチウムイオン電池が破壊、変形され内部でショート状態になり、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

- ❗ リチウムイオン電池を水や海水などに浸けたり、濡らさないでください。

リチウムイオン電池内部で異常な化学反応が起こり、リチウムイオン電池が液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。

- ❗ リチウムイオン電池が漏液して液が目に入ったときは、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で十分に洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

放置すると液により目に障害を与える原因となります。

⚠ 警告

- ❗ 充電の際に所定の充電時間を越えても充電が完了しない場合には、充電をやめてください。

リチウムイオン電池を液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火させる原因となる恐れがあります。

- ❗ リチウムイオン電池が漏液したり、異臭がするときには、直ちに火気より遠ざけてください。

液漏れした電解液に引火し、発熱、破裂、発火の原因となります。

⚠ 注意

- ❗ リチウムイオン電池の充電温度範囲は、次のとおりです。
充電：0℃～+40℃

リチウムイオン電池が急に加熱されたり、密閉状態が壊れたりして、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
また、リチウムイオン電池の性能や寿命を低下させることがあります。

- ❗ リチウムイオン電池が液漏れして、液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。

皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。

- ❗ お買い上げ後、初めて使用の際に、さびや異臭、発熱、その他異常と思われるときは、使用しないで買い上げの販売店にご持参ください。

- ❗ リチウムイオン電池は、乳幼児の手の届かない所に保管してください。

- ❗ 濡れたリチウムイオン電池は使用しないでください。
故障、感電、発熱、発火の原因となります。

- ❗ 濡れた手でリチウムイオン電池をさわらないでください。
感電の原因となる場合があります。

- ❗ 通電中のリチウムイオン電池に長時間触れないでください。
温度が相当上がる場合があります。長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となる場合があります。

- ❗ 直射日光の強い所や炎天下の車内などの高温の場所で使用したり、放置しないでください。
液漏れ、発熱、発煙の原因になる恐れがあります。また、リチウムイオン電池の性能や寿命を低下させる場合があります。

● 本機の使用・運転について

⚠ 警告

- ❗ 走行中は運転者による操作、ランプの注視をしないでください。

このような行為は道路交通法第 71 条への違反となり処罰の対象となります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。交通事故やけがの原因となります。

- ❗ ワンタッチ記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作してください。

- ❗ 急発進したり急ブレーキをかけないでください。

安全運転上、大変危険です。また本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

- ❗ 運転者は走行中に操作しないでください。

走行中の操作は前方不注意による事故の原因となります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキがある車両は、サイドブレーキを引いた状態で操作してください。

- ❗ 海外ではご使用にならないでください。
本機は日本国内仕様です。

● 本機のお手入れについて

⚠ 注意

- ❗ カメラのレンズが汚れている場合は、やわらかい布などに水を含ませて、軽く拭いてください。

乾いた布などでふくとキズの原因となります。

- ❌ 本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。

内部に異物が入った場合は使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

- ❌ ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。

塗装面を傷めます。



● 防水機能について

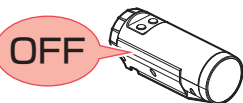
⚠ 警告

- ❌ 本製品は防水設計になっていますが、洗車時には本製品を外して洗車してください。

● SDカードについて

⚠ 警告

- ⚠ SD カードの出し入れは、本機の電源 ON になっていないことを確認して行ってください。



- ⚠ SD カードは一方方向にしか入りません。挿入方向をよくお確かめの上、挿入してください。

無理に押し込むと、本機が壊れることがあります。

使用上のご注意

- 本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけてください。
- 本機を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故等の付随的損害について、弊社は一切その責任を負いません。

- ・自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・説明書に記載の使用方法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。
- ・本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。
- ・本製品の取り付けによる車両の変色・変形(跡が残る)に関し、当社では補償いたしかねます。

■ 録画についての注意

- ・本機は連続で映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- ・本機は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
- ・本機の故障や本機使用によって生じた損害、および記録された映像やデータの消失、損傷、破損による損害については、弊社は一切その責任を負いません。
- ・本機で録画した映像は、使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますが、弊社は一切責任を負いません。
- ・本機の動作を確かめるための急ブレーキなど、危険な運転は絶対におやめください。
- ・LED 式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。それにより発生した損害については弊社は一切責任を負いません。
- ・映像を正常に録画するために、カメラのレンズは常に清潔にしてください。
- ・録画条件により、録画のコマ数が変わる場合があります。
- ・運転者は走行中に電源ランプ等を注視したり、操作しないでください。上書き禁止にするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。
- ・事故発生時は、録画ファイルが上書きされないように必ず SD カードを保管してください。
- ・本機は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取り扱いをすると、データが破損する恐れがあります。
 - ※本体に静電気や電気ノイズが加わった場合。
 - ※水に濡らしたり、強い衝撃を与えた場合。
 - ※長期間使用しなかった場合。
 - ※パソコンでの操作時に誤った取り扱いを行った場合。

■ SD カードに関する注意

- ・SD カードリーダーライターは、使用の SD カード容量に応じたものを使用してください。容量に対応していない SD カードリーダーライターを使用すると、データの破損等により、読み込みや書き込みが、できなくなる可能性があります。
- ・SD カードの取り出しは、必ず電源が切れている状態で行ってください。本機の動作中に SD カードの取り出しや挿入を行うと、SD カードの破損やデータの消失など、誤動作を起こす場合があります。
- ・SD カードは NAND 型フラッシュメモリとコントローラから構成されており、不良セクタが発生する場合があります。不良セクタにはデータが書き込まれませんが、データの記録が繰り返されると、不良セクタの位置が判断できなくなり、見かけ上の記録可能領域が減少します。不良セクタを修復し安定してご使用いただくため、数ヶ月に一度、フォーマットを行うことをお勧めします。
- ・SD カードは消耗品ですので、定期的に新品への交換をお勧めします。長期間ご使用になると、不良セクタの多発などにより正常に記録できなくなる場合や SD カードエラーになり使用できない場合があります。
- ・SD カードの消耗に起因する故障または損傷については、弊社は一切の責任を負いません。
- ・重要な記録データは、パソコンに保存や DVD など別媒体での保管をお勧めします。
- ・本機をご使用中にデータが消失した場合でも、データ等の保証について、弊社は一切その責任を負いません。

電波干渉について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合を受けています(受けた部品を使用しています)。したがって本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。

本機の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)、および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、およびアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- ・本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- ・万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、お客様ご相談センターに御連絡いただき、混信回避の処置などについてご相談ください。
- ・その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局、あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、お客様ご相談センターへお問い合わせください。(P.66)

2.4 DS/OF 4

・この表示は2.4GHz帯を使用している製品であることを意味します。

2.4: 2.4GHz帯を使用する無線機器です。
DS/OF: 変調方式がDS-SS、OFDMであることを示します。

4: 電波干渉距離は40mです。

■: 全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能です。

ヒューズケーブルに関する注意

- ・ヒューズケーブルは、必ず同梱品をご使用ください。
- ・ヒューズケーブル内部のヒューズが切れた場合は、市販品の新しいヒューズ(2A)と交換してください。また、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、すぐに使用を中止して、お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センターに修理をご依頼ください。
- ・ヒューズ交換の際は、部品の紛失に注意してください。

内蔵リチウムイオン電池に関する注意

- ・リチウムイオン電池には寿命があります。
- ・充電しても使用時間が短くなった場合は、販売店に内部電池(充電式リチウムイオン電池)の交換(修理対応)をご依頼ください。
- ・安全のため、高温時や低温時は充電ができません。充電可能な温度範囲は、0~+40℃になります。

不要になったリチウムイオン電池は金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って、お住まいの自治体の規則に従って正しくリサイクルしていただくか、最寄りのリサイクル協力店へお持ちください。リサイクル協力店につきましては、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。
<http://www.jbrc.com/>



他社製品との組み合わせに関する注意

- ・他社製品との組み合わせについては、動作検証等を行っておりませんのでその動作については保障することができません。あらかじめご了承ください。

撮影された映像について

- ・本機は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや、影が生じることがあります。これは、広角レンズの特性であり、異常ではありません。

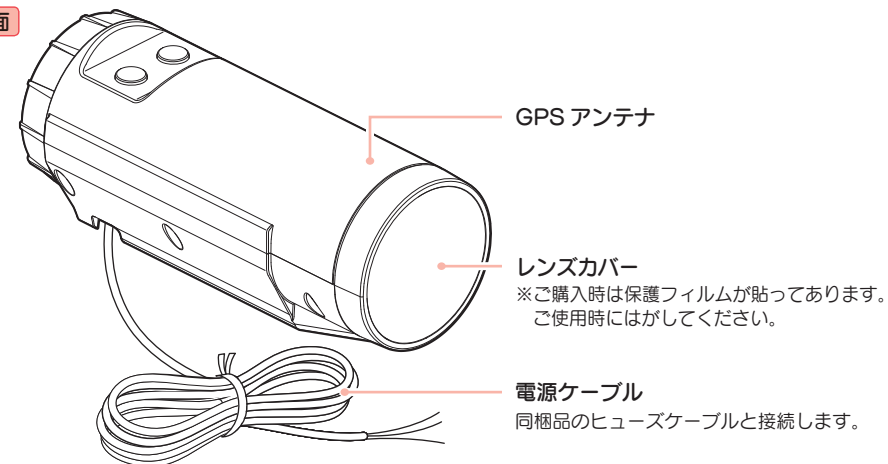
GPS 測位に関する注意

- ・本機を初めてご使用になる場合は、GPS 測位が完了するまで20分以上時間がかかる場合があります。
- ・走行速度や進行角度、距離などの表示は、GPSの電波のみで計測しています。測位状況によって、実際とは異なる場合があります。

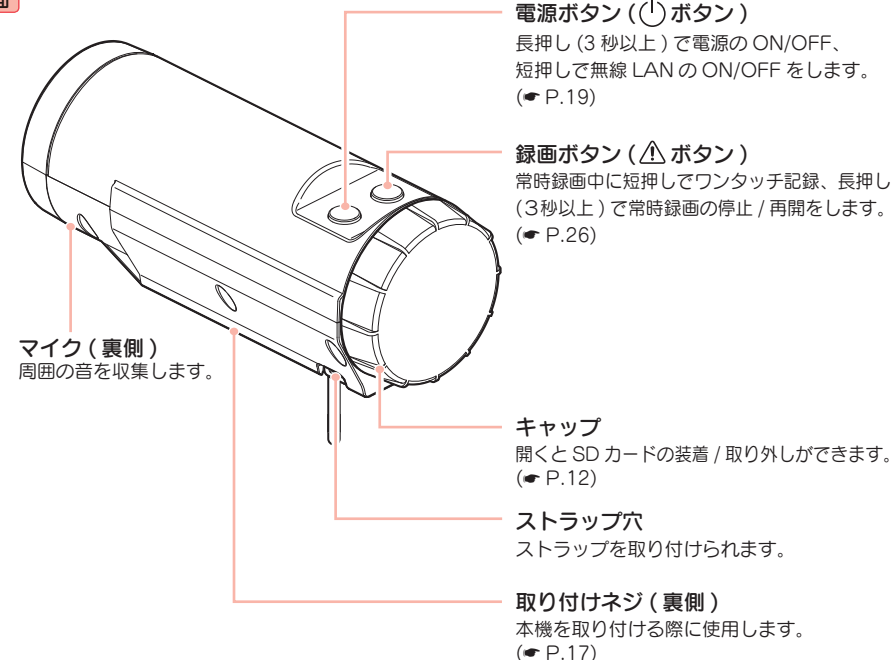
各部の名称と働き

■ 本体

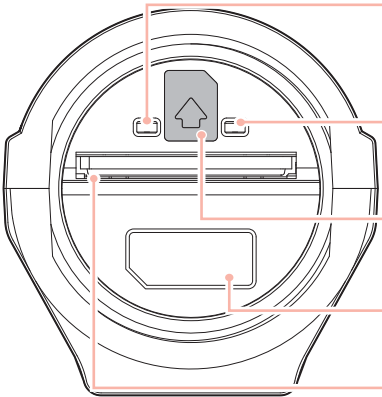
正面



背面



キャップを外した状態

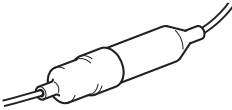


- 電源ランプ（オレンジ・緑・赤）
本機の動作状態をランプでお知らせします。
（● P.27）
- 録画ランプ（青）
本機の録画状態をランプでお知らせします。
（● P.27）
- SD カード挿入向き
イラストの向きに合わせて SD カードを挿入
してください。
- シリアルナンバー
製造番号が印刷されています。
- SD カード挿入口
SD カードを装着します。（● P.14）

1. 同梱品

ご使用前に同梱品をお確かめください。

- ヒューズケーブル 1
- SD カード(8GB) 1
- 専用ソフト 1
（同梱品の SD カード内に収納）
- 取扱説明書・保証書(本書) 1



- ・本機には、お買い上げの日から 1 年間の製品保証がついています。
ただし、SD カード、両面テープなどの消耗品は保証の対象となりません。
- ・本機の故障による代替品の貸出は弊社では一切行っておりません。

- ・SD カードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。
- ・SD カードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります。

2. 別売品

- 取付汎用 ステー OP-stay 01 本体 3,000 円 + 税
- 取付マウントキット OP-MNT 02 本体 8,000 円 + 税
- ・同梱品・別売品などを追加購入される際は、機種名とともに「BDR-2 WiFi 用〇〇（必要
な部品）」で、製品購入店やお近くの弊社取扱店にご注文ください。
- ・当社ホームページでご購入いただけるものもございます。
詳しくは下記ホームページをご確認ください。

Yupiteru スペアパーツ ダイレクト
<https://spareparts.yupiteru.co.jp/>

充電について

1. 内部電池を充電する

充電温度範囲 0℃～+ 40℃ 過充電防止回路付

■ 車両から充電する

同梱品のヒューズケーブルと本機を接続し（● P.18「接続方法」）、電源が供給されると充電が行われます。
約 100 分で満充電になります。
※ 充電可能温度範囲は 0℃～+ 40℃です。安全のため、高温時や低温時は充電ができません。

2. 電池残量アイコンについて

専用アプリの、ライブ映像画面（● P.48「ライブ映像画面」）に次のように電池の状態を表示します。

※ 本機のランプでも内部電池の状態は確認することができます。（● P.28「電源ランプ点灯パターン」）



<ライブ映像画面>

電池の状態	電池残量が多い （満充電）	少なくなっている （80 ～ 30%）	ほとんど 残っていない （30 ～ 10%）	充電が必要
アイコン				

■ 使用時間の目安

満充電の状態で本機で無線 LAN 接続し、専用アプリで録画ファイルを再生した場合、本機の内部電池で約 35 分使用できます。
※ 設定や動作条件によっては、使用時間が短くなる場合があります。
※ 内部電池には寿命があります。充電しても使用可能時間が短くなった場合は、お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センターにご相談ください。

SD カードの装着 / 取り外し

※ 本機と同梱品以外の SD カードの相性による動作の不具合については保障いたしかねます。
 ※ 本機は、8GB 以上、32GB 以下の SDHC カードに対応しています。(SD スピードクラス「Class 10」以上)

⚠ 注意

- 電源 OFF (録画・電源ランプ消灯) にしてから行ってください。
- SD カードは一方方向にしか入りません。SD カードを下図のように挿入してください。無理に押し込むと、本体が壊れることがあります。
- SD カードを装着 / 取り外しするためにキャップを開けた場合は、作業終了後必ずキャップをしっかりと締めてください。キャップがしっかりと閉じられていない場合は、本機の防水性能が損なわれ、故障の原因となります。また SD カードがきちんと取り付けられていないと、記録できません。

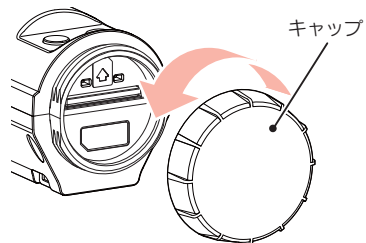
1. SD カードを本機に挿入する

1-1 車両のエンジンを OFF にする

本機の電源 OFF (録画・電源ランプがすべて消灯) を確認してください。

1-2 キャップを外す

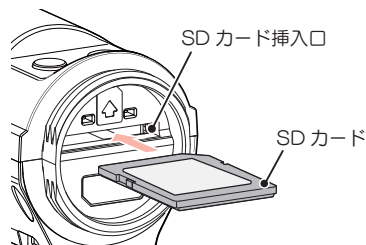
キャップを下図の方向に回し取り外す。



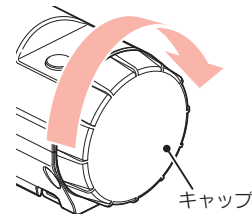
※ キャップは完全に分離しますので紛失に気を付けてください。

1-3 SD カードを挿入する

SD カード挿入口に『カチッ』と音がするまで押し込んでください。



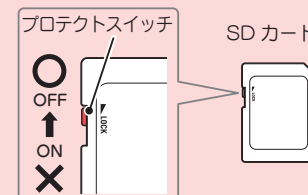
1-4 キャップを取り付ける



※ キャップの向きに気を付けて取り付けてください。

SD プロテクトスイッチについて

SD カードには、プロテクト(書き込み禁止)機能が付いています。使用時には、プロテクトスイッチを OFF にしてください。



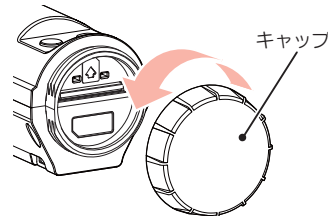
2. SD カードを本機から取り外す

2-1 車両のエンジンを OFF にする

本機の電源 OFF (録画・電源ランプがすべて消灯) を確認してください。

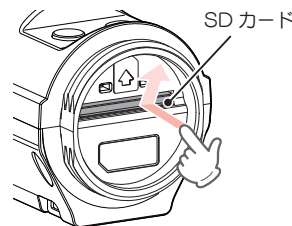
2-2 キャップを外す

キャップを下図方向に回し取り外す。



※ キャップは完全に分離しますので紛失に気を付けて大切に保管してください。

2-3 SD カードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く



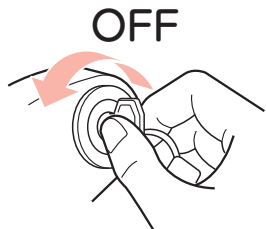
※ SD カードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

もしも事故が起きたら・・・

事故発生時は記録された録画ファイルが上書きされないように、必ず SD カードを取り外して安全な場所に保管してください。

SDカードの保管

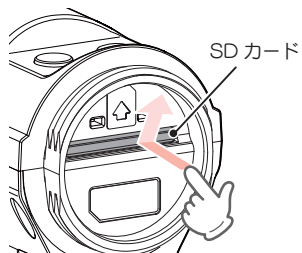
1 本機を電源 OFF する



エンジンキーを OFF にし、本機を電源 OFF します。

電源 OFF 後、電源ランプの消灯を確認します。

2 キャップを外し、SD カードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く



※ SD カードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

3 SD カードを保管する

・保管場所について・・・

SD カードは精密な電子部品で構成されており、下図のような場所でお取り扱い、保管をすると、録画ファイルが破損する恐れがあります。



〈静電気・ノイズ〉



〈水・湿気〉



〈衝撃・曲げ・折り〉



〈腐食性ガス〉

※ 事故発生時の参考資料として使用することができます。事故の証拠として、効力を保証するものではありません。

バックアップ機能について

重大事故などで急に電源が断たれた場合、バックアップ機能により、現在記録中の録画ファイルの破損を防いで保存します。

こんなときに録画ファイルが役立ちます

例 赤信号を無視して交差点に入ってきた車両との側面衝突事故で、加害車両のドライバーは進行方向の信号は青で、事故原因は「あなた」が信号無視したからだと主張した場合。



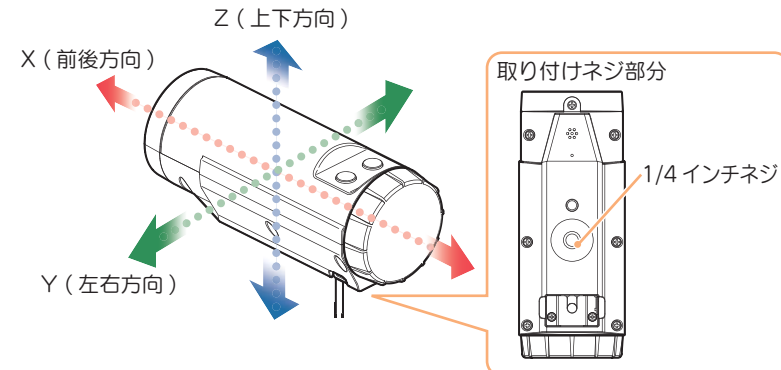
・信号の色などが記録されていれば事故の参考資料になり、早期解決につながります。

取り付けかた

1. 本機の取り付け

1-1 本機底部のネジを利用し、取り付ける

レンズ部が車両前方を向くように取り付けてください。



※ 本体のストラップ穴を使って、市販品のストラップ等で落下防止の対策をしてください。本体落下による損害に対しては一切の責任を負いません。

取り付けのヒント

本機の取り付けの際は、取り付けネジ部分が下側になるように取り付けてください。取り付けネジ部分が横向きや上向きの状態で取り付けると、記録した録画ファイルを専用ソフトで再生する際に、画面が横向きや逆さまの向きで再生されます。

また、横向きや逆さまの向きで取り付けると本機の防水性能 (IP 55 相当) が損なわれ、故障の原因となります。

IP とは IEC (国際電気標準会議) 規格で定められた防水や粉塵に対する規格です。

IP 55
— IP コード文字

第一特性数字 5 …… 粉塵が内部に侵入することを防止。また若干の侵入があっても正常の動作を阻害することがない。

第二特性数字 5 …… あらゆる方向からの噴流水によっても、有害な影響を受けない。

※ 完全防水ではありません。

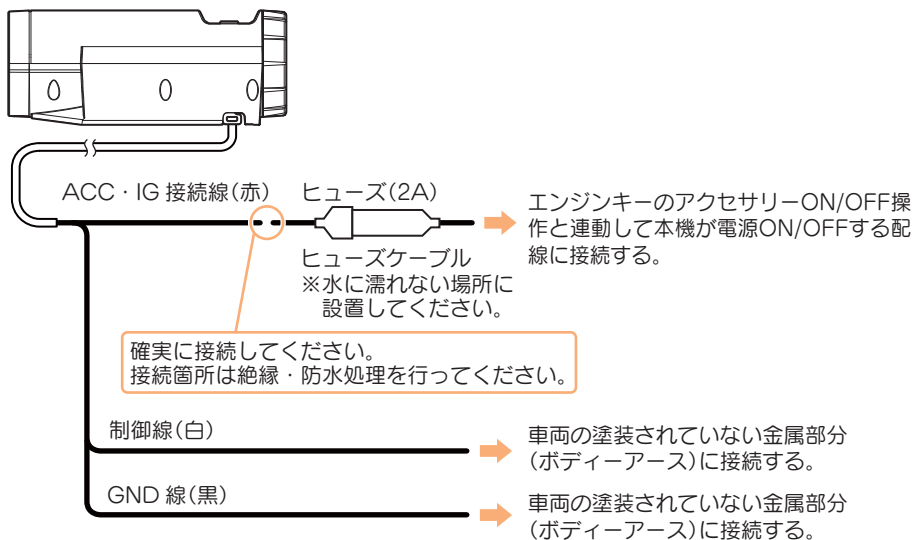
2. 接続方法

同梱品のヒューズケーブルを接続します。

接続作業の前に…

作業中のショート事故防止のため、接続前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してください。

- ・下図のようにそれぞれ正しく接続してください。
- ・ACC・IG 接続線（赤）は、必ずエンジンキーのアクセサリ ON/OFF 操作と連動して本機が電源 ON/OFF する配線に接続してください。
- ・ヒューズケーブルは ACC 線・IG 接続線（赤）と確実に接続し、接続箇所は絶縁・防水処理を行ってください。また、水に濡れない場所に設置してください。
- ・制御線（白）と GND 線（黒）は、車両の塗装されていない金属部分（ボディアース）に接続します。
- ・走行中の振動などで配線が外れないようにしっかりと接続してください。
- ・エンジンブロックやマフラー、ヘッドランプ等、高温になる場所を避けて配線してください。やむを得ない場合は十分な耐熱処理を行って配線してください。



■ ヒューズケーブルが長い場合は…

車両に合わせて切断することができます。



電源 ON ~ OFF について

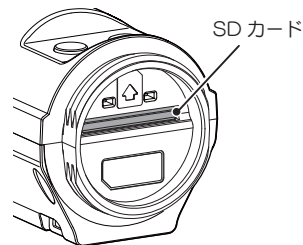
ご購入後、初期設定のまま使う場合、下記の手順に沿って操作を行います。

※ 同梱品以外の SD カードを使用して録画を行う場合は必ず専用ソフトまたは、専用アプリでフォーマットを行ってください。（専用ソフト ● P.44、専用アプリ ● P.57）

1. 電源 ON(録画を開始する)

本機は、エンジンキーに連動して録画を行います。（初期設定時）

1-1 SD カードが挿入されていることを確認する



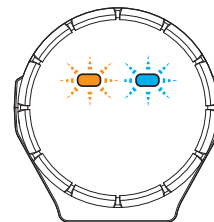
・ SD カードが挿入されていないときは…

電源 OFF であること（電源ランプ・録画ランプ消灯）を確認して、SD カードを挿入してください。

● P.14「SD カードの装着 / 取り外し」

1-2 車両のエンジンを ON する

電源ランプ（オレンジ）と録画ランプ（青）が点灯し、録画を開始します。



・ 自動録画を OFF にできます。

専用ソフト ● P.43「常時録画開始方法」

専用アプリ ● P.54「設定を変更する」

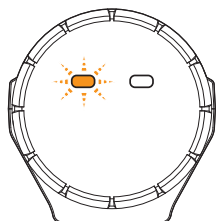
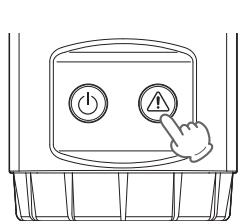
※ GPS 情報を取得すると、GPS による日時の修正が行われます。

・ GPS 測位について …

購入後、初めて使用する場合、障害物や遮へい物のない見通しの良い場所で 10 分～ 20 分程度通電状態にし、GPS の電波を受信（測位）させます。

■運転中に録画を停止する場合

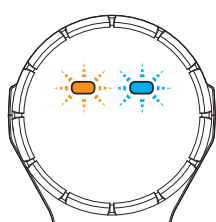
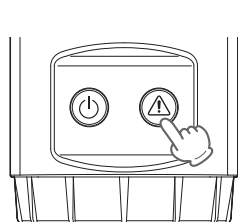
録画中に ⚠ ボタンを長押し (3 秒以上) すると録画を停止します。



録画ランプ (青) が消灯します。

■録画停止中に録画を再開する場合

録画停止中に ⚠ ボタンを長押し (3 秒以上) すると録画を再開します。



録画ランプ (青) が点灯します。

2. 電源 OFF (録画を停止する)

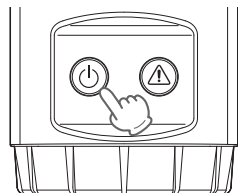
本機は、エンジンキーに連動して録画を停止します。

2-1 車両のエンジンを OFF する

録画が停止し、電源 OFF になります。

■手動で電源 OFF にする方法

⏻ ボタンを長押し (3 秒以上) すると電源 OFF することができます。



※ 手動で電源 ON にする場合は ⏻ ボタンを長押し (3 秒以上) してください。

専用アプリで再生する

「BDR App」を使用し、スマートフォンと本機を無線 LAN 接続することにより、本機で記録された録画ファイルをスマートフォンにて再生することができます。

・以下の仕様を満たしたスマートフォン等で専用アプリを使用することができます。

iOS 7.0 以上

Android 4.0 以上 (Google Play 対応)

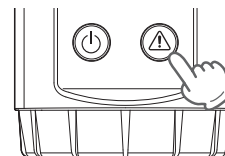
1. アプリのインストール

「BDR App」をスマートフォンにインストールします。
iPhone は「App Store」、Android は「Google Play」から「BDR App」をインストールします。
対応機種などは弊社ホームページをご覧ください。
<http://www.yupiteru.co.jp/>



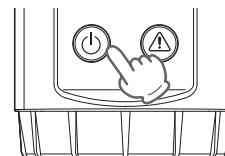
2. 無線 LAN を ON する

2-1 ⚠ ボタンを長押し (3 秒以上) し、録画を停止する。



・ワンタッチ記録中 (P.27) は録画を停止することができませんので、録画ランプ (青) が点滅から点灯に変わるまでお待ちください。

2-2 ⏻ ボタンを短押しし、無線 LAN を ON する



・無線 LAN の接続状態を確認する。(P.28)

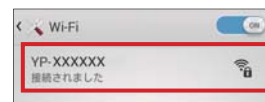
※ 無線 LAN 接続中は本機での録画操作ができません。
操作をすると以下の点滅パターンでお知らせします。

(録画ランプ：青) ■■ 消灯

(電源ランプ：赤) ■■ 消灯

3. スマートフォンに接続する

3-1 お使いのスマートフォンを本機の無線 LAN に接続する

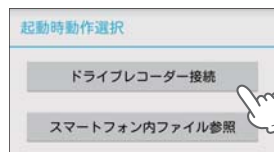


・接続方法はスマートフォンの取扱説明書にそって Wi-Fi 接続してください。
・本機の無線 LAN は「YP-」から始まるネットワーク名で表示されます。
※ 「xxxxxx」の部分は初期値では本機のカメラ ID が表示されます。
※ 録画中は、本機の無線 LAN に接続できません。

3-2 アプリ「BDR App」を起動する



3-3 [ドライブレコーダー接続]にタッチする



- ・ドライブレコーダー接続…
本機とスマートフォンを無線 LAN で接続します。録画・再生などの操作のほかに、本機の設定を変更できます。
- ・スマートフォン内ファイル参照…
専用アプリで本機を使用してスマートフォンに記録されたファイルの再生、コピー、削除ができます。(P.52)

3-4 [YP-XXXXXX] にタッチする

ライブ映像画面が表示されます。



- ・ライブ映像画面の詳細は…
 P.48「ライブ映像画面」

4-2 再生する録画ファイルにタッチする

録画ファイルが再生されます。



< アルバムモード画面 >



< 録画ファイル再生画面 >

- ・アルバムの詳細は…
 P.50「アルバムモード画面」

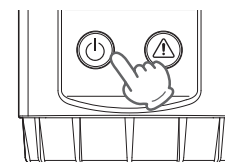
- ・録画ファイル再生画面の詳細は…
 P.51「録画ファイルを再生する」

4-3 スマートフォンのバックキーにタッチし再生を終了する

再生を終了させるとアルバムモード画面に戻ります。

5. 無線 LAN を OFF する

5-1 電源ボタンを短押しし、無線 LAN を OFF する



- ・無線 LAN の接続状態を確認する。
(P.28)
- ・常時録画中の場合は、無線 LAN を OFF しても、常時録画を継続します。(初期値は「録画継続」に設定されています。)

4. 録画ファイルを再生する

4-1 [アルバム] にタッチする



メンテナンスについて

本機は、定期的にメンテナンスを行っていただくことをお勧めします。

■ 数ヵ月に一度のメンテナンス

⚠ 注意

❗ 数ヵ月に一度、SD カードのフォーマットを行うことをお勧めします。

・ SD カードのフォーマット

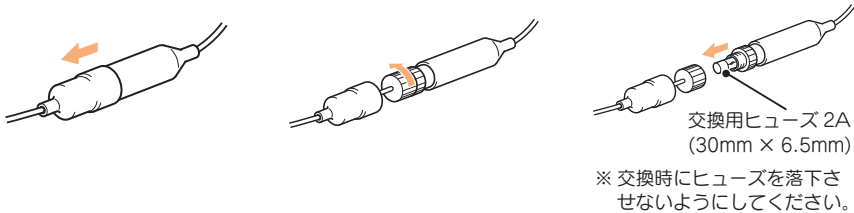
SD カードは、長期間使用することにより、不良セクタが発生します。不良セクタには書き込みをすることができず、SD カードへの書き込みが不安定になる場合があります。数ヵ月に一度、専用ソフトまたは専用アプリでフォーマットを行うことをお勧めします。(専用ソフト ➡ P.44、専用アプリ ➡ P.57)

■ 必要に応じてメンテナンス

接続状態でエンジンをかけても、本機の電源が入らない場合は、ヒューズケーブルのヒューズ (2A) が切れている可能性があります。

- ・ 接続コード類が外れていないかを確認してください。
- ・ 下記の手順でヒューズを取り出し、ヒューズが切れていないかを確認してください。
- ・ ヒューズが切れている場合は、市販品のヒューズと交換してください。

- ① ヒューズケースのカバーを外す
- ② ヒューズケースのフタを矢印のほうに回す。
- ③ ヒューズを取り出し交換する。



初期設定について

本機の初期設定は、下記の表のとおりです。

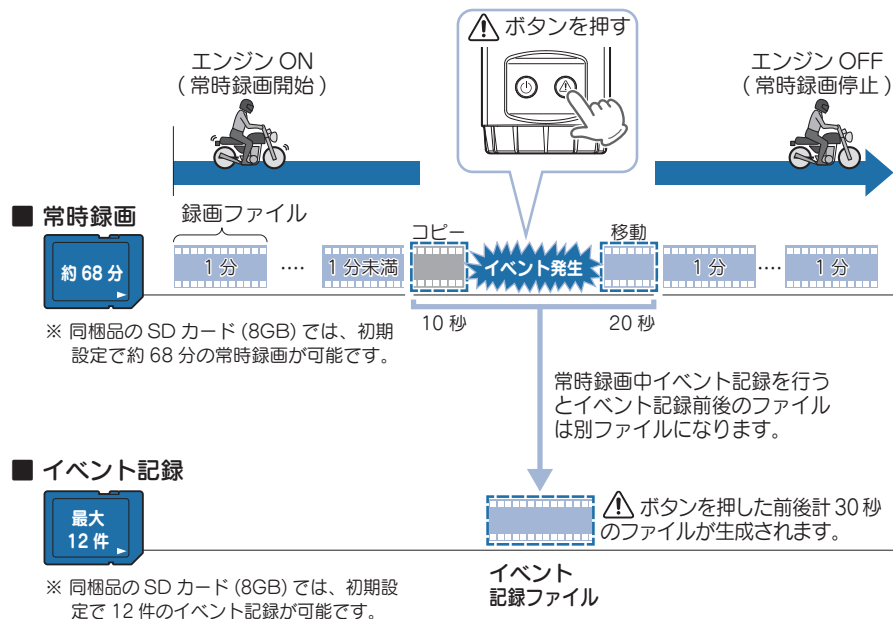
設定項目	初期値	説明
解像度	1080P HD	1920 × 1080 の解像度で録画します。
録画コマ数	30 コマ / 秒	30 コマ / 秒で録画します。
音声記録	ON	録画と同時に音声を録音します。
常時録画開始方法	電源に連動	エンジンキー連動で録画を開始します。
無線 LAN 切断後録画	録画継続	録画中に無線 LAN を切断した場合、録画を継続します。
履歴記録周期	1 コマ / 秒	1 コマ / 秒で GPS 履歴を記録します。
履歴記録時間	24 時間	24 時間のログ (GPS 情報) を記録します。
履歴記録方法	電源に連動	エンジンキー連動で履歴を記録します。
録画ボタン	長押し：常時録画開始 / 終了 短押し：イベント記録開始	録画ボタンを長押しすることで常時録画を開始 / 終了し、短押しすることでイベント記録を行います。
上書きモード	常時録画：ON イベント記録：ON 履歴記録：ON	常時録画… SD カード容量の上限に達した場合、古い録画ファイルを上書きします。(➡ P.26) イベント記録… 最大記録件数に達した場合、古い録画ファイルを上書きします。(➡ P.27) 履歴記録… SD カード容量の上限に達した場合、古い GPS 情報を上書きします。
SD カード容量配分	常時録画：90% イベント記録：10%	常時録画を SD カードの 90% を使用し記録します。 イベント記録を SD カードの 10% を使用し記録します。(➡ P.65)

※ 初期設定を変更する場合は、専用ソフト ➡ P.42 ~ 44、専用アプリ ➡ P.54 ~ 57 を参照してください。

録画について

録画方法は、[常時録画]、[イベント記録]、[常時 + イベント] があります。
専用ソフトを使って、録画方法を選択することができます。(P.60)

※ 初期値は「常時 + イベント」に設定されています。



1. 常時録画

エンジン始動（ACC ON）からエンジン停止（ACC OFF）までの録画ファイルをSDカードに常時録画します。

※ 常時録画の開始方法を選択できます。(初期値:「電源に連動」)(▶ P.43「常時録画開始方法」)

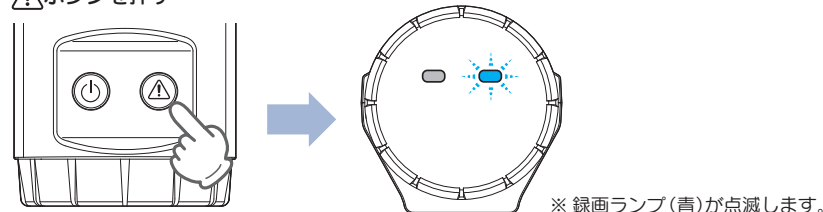
- ・ **録画ファイル構成**
初期設定 (30 コマ / 秒) で、1 ファイルあたり約 1 分で生成します。
※ 録画コマ数により 1 ファイルあたりの時間が変化します。(➡ P.64「録画ファイル構成」)
- ・ **録画可能時間**
初期設定 (30 コマ / 秒、1080P HD、常時録画容量 : 90%) で、同梱品の SD カード (8GB) に約 68 分の常時録画が可能です。SD カードの容量および、常時録画容量の比率によって録画可能時間は異なります。(➡ P.65「録画時間の目安」)
- ・ **上書きモード**
初期設定では、「上書きモード」が [ON] のため、68 分以上上書きして録画します。上書き動作は設定によって異なります。(➡ P.44「上書きモード」)

2. イベント記録(ワンタッチ記録〈手動録画〉)

⚠ ボタンを押すと、イベント発生前後（前 10 秒と後 20 秒の合計 30 秒）の録画ファイルを記録します。常時録画中は常時録画を一度停止し、イベント記録を行います。

※ 記録可能時間の秒数及び前後記録時間の割合を変更することはできません。

⚠ ボタンを押す



- ・ **録画ファイル構成**
1 ファイルあたり 30 秒(イベント発生前 10 秒とイベント発生後 20 秒)で生成します。
- ・ **最大記録件数**
初期設定 (30 コマ / 秒、1080P HD、イベント記録容量 : 10%) で、同梱品の SD カード (8GB) に 12 件のイベント記録が可能です。SD カードの容量および、イベント記録容量の比率によって最大記録件数は異なります。(➡ P.65 「イベント記録の最大記録件数」)
- ・ **上書きモード**
初期設定では「上書きモード」が [ON] のため、記録件数が 12 件を超えると、古いイベント記録を上書きします。上書き動作は設定によって異なります。(➡ P.44 「上書きモード」)

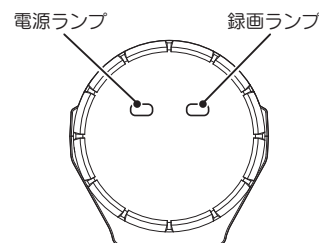
⚠ 注意

・イベント記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。

3. 上書きモードについて

上書きモードを [OFF] にすると、各録画方法のデータ容量が上限に達した場合、録画ランプ（青）が点灯・消灯を繰り返し、各録画方法での録画を停止します。
 (P.44「上書きモード」)

4. 本機ランプについて



- ・本機の状態を、ランプで確認することができます。

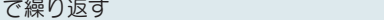
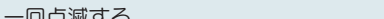
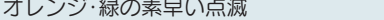
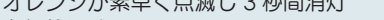
電源 ランプ	オレンジ	バッテリー動作状態
	緑	無線 LAN 動作状態
	赤	状態異常
録画 ランプ	青	常時録画中は点灯し、ワンタッチ記録中は点滅します。

※ ランプの点灯パターンは P.28 を参照してください。

■ 録画ランプ点灯パターン

ランプの状態	本機の状態
青が常時点灯 	常時録画
青が3秒点灯し、短い消灯を繰り返す 	常時録画 (上書き中)
青の点滅 	イベント記録
青の点滅と消灯を繰り返す 	イベント記録 (上書き中)

■ 電源ランプ点灯パターン

ランプの状態	外部電源	内部電池	無線 LAN
オレンジが常時点灯 	動作中	満充電	OFF
緑が常時点灯 	動作中	満充電	ON
オレンジと緑が2秒間隔で点灯する 	動作中	充電中	ON
オレンジの点灯と消灯を2秒間隔で繰り返す 	動作中	充電中	OFF
オレンジが3秒点灯し緑が素早く一回点滅する 	—	内部電池使用	ON
オレンジが3秒点灯し素早く消灯する 	—	内部電池使用	OFF
オレンジ・緑の素早い点滅 	—	内部電池使用 電池残量：少	ON
オレンジの素早い点滅 	—	内部電池使用 電池残量：少	OFF
オレンジが素早く点滅し3秒間消灯を繰り返す 	動作中	充電中 (電源 OFF 時)	OFF

※ 外部電源動作中とは、本機が外部電源のみで動作している状態です。

専用ソフトについて

本機で録画した録画ファイルは、パソコンに専用ソフトをインストールすることにより、Google Maps と連動させて表示することができます。

※ 自車位置の表示にはインターネット接続環境が必要です。

1. インストールの準備

以下の仕様を満たしたパソコンで専用ソフトを使用することができます。

OS : Microsoft Windows XP 、 Vista、7 または 8
CPU: Core2Duo 相当、2.0GHz 以上
メモリ : 2GB 以上

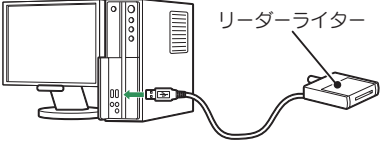
- ※ 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- ※ 再生する動画の種類によっては処理能力が高いパソコンが必要になります。お使いになるパソコン環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。
- ※ CPU やメモリが動作環境に満たない場合、再生時の動作が遅くなることがあります。
- ※ 誤って専用ソフトを削除した場合は、弊社ホームページよりダウンロードしてください。
<http://www.yupiteru.co.jp/>
- ※ ご使用の SD カード容量に対応していないリーダーライターを使用した場合、SD カード内のファイルが破損することがあります。

2. 専用ソフトをインストールする



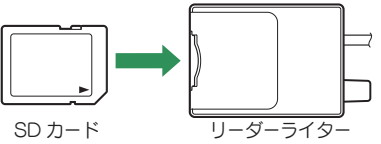
・パソコンや SD カードリーダーライターから SD カードを取り外す際は、お使いのパソコンや SD カードリーダーライターに付属の取扱説明書に沿って取り外してください。誤った手順で取り外すと、保存したデータが失われたり、SD カードを破損させてしまう恐れがあります。

2-1 SD カードリーダーライターをパソコンに接続する

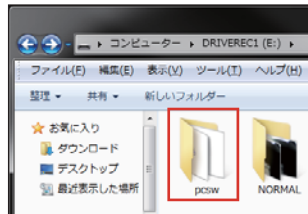


※ SD カードを直接接続できるパソコンの場合は、リーダーライターを接続する必要がありません。

2-2 本機から取り出した SD カードをリーダーライターに接続する

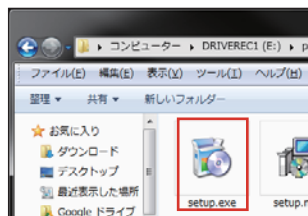


2-3 [DRIVEREC1] と表示されているドライブを開き、[pcsw] フォルダをダブルクリックする



※ ドライブの展開は、エクスプローラなどを起動して行ってください。

2-4 [setup.exe] をダブルクリックする



※ パソコンが「拡張子を表示しない」に設定されている場合、setup と表示されます。

2-5 [次へ] をクリックする



2-6 [同意する] にチェックを入れ [次へ] をクリックする



2-7 ユーザー情報を入力する

任意でユーザー情報を入力し、[次へ] をクリックします。



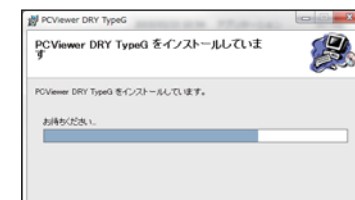
2-8 インストール先の指定

インストール先のフォルダ画面が表示されますので、インストール先を指定し、[次へ] をクリックします。



2-9 インストールの準備完了

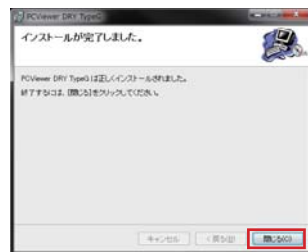
[次へ] をクリックします。



< インストール中画面 >

2-10 インストールの完了

[閉じる] をクリックします。



3. 専用ソフトをバックアップ(コピー)する

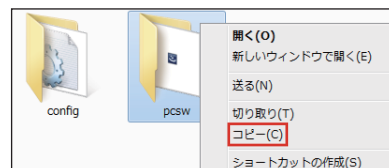
専用ソフトは同梱品の SD カード内に収納されています。誤って削除しないためにもパソコンなどにバックアップ(コピー)することをおすすめします。

例：デスクトップにバックアップ(コピー)する場合

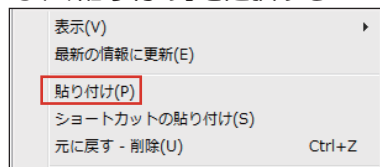
3-1 [DRIVEREC1] と表示されているドライブを展開する

※ ドライブの展開は、エクスプローラーなどを起動して行ってください。

3-2 [pcsw] フォルダ上で右クリックし、[コピー]を選択する



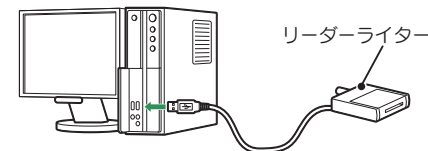
3-3 デスクトップ上で右クリックし、「貼り付け」を選択する



・デスクトップに [pcsw] フォルダがコピーされます。

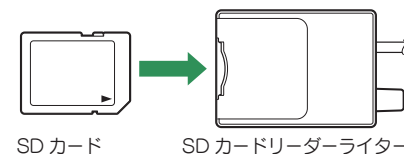
4. 録画ファイルの準備

4-1 リーダーライターを専用ソフトがインストールされているパソコンに接続する



※ SD カードを直接接続できるパソコンの場合は、リーダーライターを接続する必要がありません。

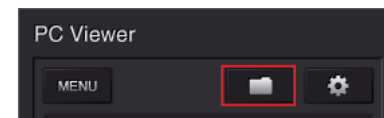
4-2 同梱品の SD カードをリーダーライターに接続する



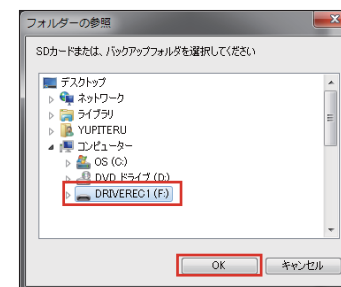
4-3 デスクトップの [PCViewer DRY TypeG] アイコンをダブルクリックする



4-4 (フォルダ選択) をクリックする



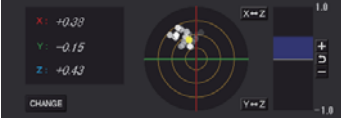
4-5 [DRIVEREC1] を選択し、[OK] をクリックする



5. 画面説明



No.	表示名	表示の意味	
①	フォルダ選択・記録設定	フォルダ選択	読み込むフォルダを選択します。
		記録設定	本機の設定を変更します。(P.42)
②	MENU	MENUを開きます。	
③	カレンダー表示	カレンダーを表示します。 日付をクリックするとその日付の録画ファイルが選択されます。(P.37)	
④	再生リスト	録画ファイルを表示します。 再生リストの詳細は P.36 を参照してください。	
⑤	地図表示	読み込まれた映像は Google Maps に連動して自転車位置が移動します。 ※ インターネットに接続されていないと、地図(Google Maps)は表示されません。	
⑥	表示切替	地図表示と映像表示を切り替えます。	
⑦	走行速度表示	GPS で記録した走行速度を表示します。 ※ GPS データがない場合は変化しません。	
⑧	シークバー	クリック位置から再生できます。	
⑨	情報表示	表示しているファイルの録画日時 / 緯度・経度を表示します。	
⑩	加速度表示切替	加速度センサー表示と加速度プロット図を切り替えます。	

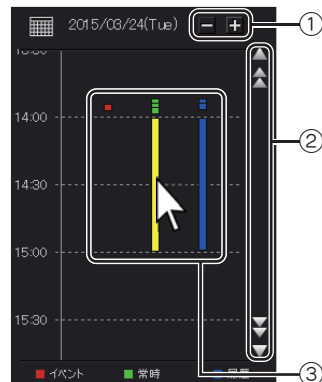
⑪	加速度センサー グラフ・加速度 プロット図表示	「加速度センサーグラフ」または「加速度プロット図」を表示します。 (P.37)  < 加速度センサーグラフ >  < 加速度プロット図 >	
⑫	ウィンドウサイズ切替	映像の 全画面表示 / 標準表示を切り替えます。	
⑬	音量ボタン	音量を調整します。 ※ ミュート時	
⑭	再生ボタン	再生や早送りなどの操作を行います。(P.36)	
⑮	表示エリア機能※1	拡大	表示画面の中央を基準に画像を 200% 拡大します。
		縮小	表示画面の中央を基準に画像を 50% 縮小します。
		画面移動	マウスの左ボタンでドラッグし、表示させたい部分まで移動します。
		時計周り回転	1 クリックで時計回りに 90° ずつ回転し、押し続けると 1° ずつ回転します。
		反時計周り回転	1 クリックで反時計回りに 90° ずつ回転し、押し続けると 1° ずつ回転します。
		元に戻す	各操作をそれぞれ元の状態に戻します。
⑯	表示エリア	選択した録画ファイルの映像を表示します。	
⑰	プログラム	最小化	ウィンドウを最小化します。
		最大化	ウィンドウを最大化 / 元に戻します。
		元に戻す	
		閉じる	ソフトウェアを終了します。

※ 1：「表示エリア機能」は、マウスのカーソルを表示される場所に持っていくと表示されます。

録画ファイルを再生する

1. 録画ファイルを再生する

1-1 再生したい録画ファイルアイコンをクリックする



・見たい録画ファイルアイコンにカーソルを持っていくと黄色になります。

No.	内容
①	タイムラインの拡大縮小をします。 + : 拡大、- : 縮小 ※ キーボードの [Ctrl]+ マウスホイールでも拡大縮小が可能です。
②	タイムラインをスクロールします。 ◀ ▶ : タイムラインをスクロールします。 ◀ ▶ : 次のデータがある日に移動します。
③	各録画ファイルのアイコンです。 ■ (赤) : イベント記録 ■ (緑) : 常時録画 ■ (青) : 履歴記録

※ 日付を指定して録画ファイルを再生することもできます。(●P.37「カレンダー表示」)

1-2 サムネイルをクリックする

表示エリアに録画ファイルが再生されます。



※ サムネイルを消す場合は選択したサムネイル以外の部分をクリックしてください。

■ 再生ボタン

・録画ファイルの再生や早戻し、早送りなどを行うときは、各ボタンをクリックしてください。



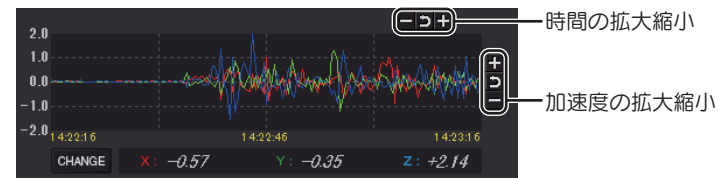
・つまみをスライドさせると、その場所から再生されます。

・ をクリックすると再生方法を変更できます。

- : 連続再生 (録画ファイルの最後まで再生すると、再生リストの次の録画ファイルを再生します。)
- : リピート再生 (録画ファイルの最後まで再生すると、同じ録画ファイルを再び最初から再生します。)
- : 一回再生 (一回だけ再生します。録画ファイルの最後まで再生し、停止します。)

■ 加速度センサーグラフ

・記録したデータを加速度 (縦軸) と時間 (横軸) でグラフ表示します。



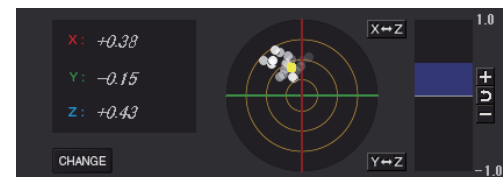
・ + ボタンをクリックすると加速度センサースケールが拡大、- ボタンをクリックすると加速度センサースケールが縮小します。

※ 上部の拡大縮小ボタンは時間の拡大縮小を行い、横部の拡大縮小ボタンは加速度の拡大縮小になります。

※ 〻 ボタンをクリックすると標準のスケールに戻ります。

■ 加速度プロット図

・加速度プロット図は、記録したデータを X 軸と Y 軸のプロット図で表示します。



・ + ボタンをクリックすると加速度プロット図が拡大、- ボタンをクリックすると加速度プロット図が縮小します。

・ X↔Z Y↔Z をクリックすると軸を変更できます。

※ 〻 ボタンをクリックすると標準のスケールになります。

■ (カレンダー) 表示

・カレンダーを表示することで、録画ファイルがある日付を見つけやすくなります。



③ 録画ファイルがある日付はオレンジ色で表示します。

No.	内容
①	月を変更できます。 ▶ : 次の月へ移動します。 ◀ : 前の月へ移動します。
②	カレンダーを常に表示します。 カレンダーを消す場合は再度クリックします。
③	各録画ファイルのアイコンです。 ■ (赤) : イベント記録 ■ (緑) : 常時録画 ■ (青) : 履歴記録

記録した録画ファイルを保存する

1. 静止画変換

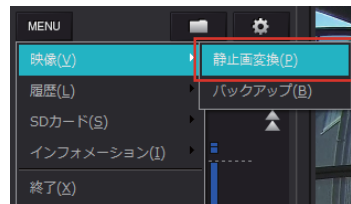
表示エリアに表示されている録画ファイルを JPEG 形式の静止画に変換して保存できます。保存先を指定し、[表示中の静止画すべて]または[コマ数指定]を選択します。

静止画変換した録画ファイルをみる

静止画変換し JPEG 形式で保存した画像は Windows の標準ソフトで見ることができます。

1-1 再生リストの静止画変換したい録画ファイルをクリックする

1-2 [MENU] → [映像] から [静止画保存] をクリックする



1-3 [表示中の静止画] または [コマ数指定] を選択し、保存先を指定し、[スタート] をクリックする



1-4 保存が完了すると、「完了しました」と表示される

[OK] をクリックすると静止画変換の画面に戻ります。

1-5 終了するときは [閉じる] をクリックする

・表示中の静止画
現在表示されている録画ファイルを静止画に変換できます。

・コマ数指定 (選択した静止画から)
表示エリアの録画ファイルから範囲指定した時間分をコマ数指定した数で分割し、静止画を作ることができます。

<秒間>

範囲指定された、表示エリアの録画ファイルの長さ(秒)を表示しています。

<コマ / 秒>

1 秒間を何コマで分割するかを設定します。

※ 選択できる最大コマ数は、記録設定の録画コマ数 (● P.42) が反映されます。

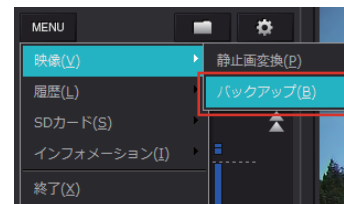
※ 静止画枚数は秒×コマ数になります。

2. バックアップ

SD カードに記録されているファイルをパソコンなどにバックアップできます。

※ バックアップしても記録した録画ファイルは削除されません。録画ファイルを削除するときは、録画ファイル削除 (● P.45) を行ってください。

2-1 [MENU] → [映像] より [バックアップ] をクリックする



2-2 バックアップしたいファイルに ☒ を入れ、保存先を指定し、[スタート] をクリックする

バックアップ用に作成したフォルダを指定します。



2-3 保存が完了すると、「完了しました」と表示される

終了するときは、[OK] をクリックします。

※ [全てバックアップ] に ☒ を入れると SD カードに記録されているすべての録画ファイルがバックアップの対象となります。

※ 複数のファイルを一度にバックアップすると、時間がかかります。

Google Earth 用のデータに変換する

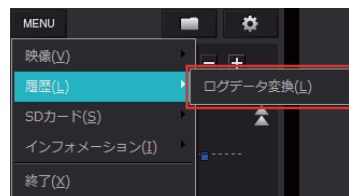
1. Google Earth 用のデータに変換する

蓄積された履歴データをKMLファイルに変換できます。変換したKMLファイルを使ってGoogle Earth上で全走行ルートの表示ができます。また記録した録画ファイルを静止画に変換し (P.38) Google Earth の機能を使って、ルート上に表示・保存できます。

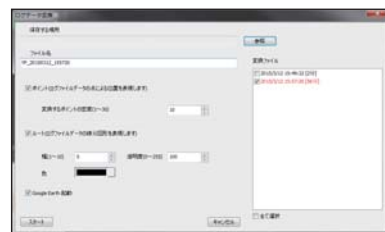
※ あらかじめGoogle EarthのホームページよりGoogle Earthをダウンロードし、パソコンにインストールしておく必要があります。

※ Google Earthのご使用方法等は、Google Earthのホームページをご確認ください。

1-1 [MENU] → [履歴] より [ログデータ変換] をクリックする



1-2 変換ファイルに ☒ を入れ、保存する場所、お好みのファイル名、ポイント、ルートを設定し、[スタート] をクリックする



※ 履歴記録を選択し、再生している状態でログデータ変換を行う場合、「YYP_年月日_時間」でファイル名が自動で作成されます。

■ ポイント (ログファイルデータの点による位置を表現します)

GPS 測位による 1 秒間隔の自車位置変化をポイントとして Google Earth に表示させ、通過時刻や進行方向を見ることができます。

・変換するポイントの密度：(1 ~ 30)

Google Earth に表示させる自車位置の間隔を秒数 (1 ~ 30) で設定します。数値を大きくすると間隔が、粗く (広く) なります。数値を小さくすると自車位置の細かな変化を見ることができます。

■ ルート (ログファイルデータの線分図形を表現します)

走行軌跡を線で表現します。

・幅：(1 ~ 10)

走行軌跡表示の幅を設定します。

・透明度：(0 ~ 255)

走行軌跡の透明度を表示します。0 は完全な透明を意味し、数字が大きくなるほど線は濃くなっていきます。

・色

走行軌跡の色を設定します。

■ Google Earth 起動

ログファイル保存完了後、Google Earth を自動で起動します。

※ Google Earth がダウンロードされていないと起動しません。

1-3 保存が完了すると、「完了しました」と表示される

終了するときは [OK] をクリックします。

・ [Google Earth 起動] に ☒ を入れると、ログファイル保存完了後に Google Earth が起動し、画面上に走行軌跡が表示されます。

※ 走行軌跡は Google Earth 上の道路や地形と必ずしも一致しません。ずれて表示されることがありますのでご了承ください。

専用ソフトの設定を変更する



設定変更を行う場合は必ず SD カードをリーダライタに接続してご使用ください。設定内容は SD カードに保存されます。
SD カードを本機に装着し、本機を電源 ON すると設定内容が本機に反映されます。

1. 記録設定

(記録設定)をクリックすると、各種の設定変更や SD カードの初期化、SD カードからの録画ファイルの削除を行うことができます。

■ 解像度

記録する録画ファイルの解像度を選択できます。
記録する画面のサイズは画質によって違います。
1080P HD (1920 × 1080)、1080P (1440 × 1080)、720P (1280 × 720)、VGA : 640 × 480

※ 初期値は [1080P HD] に設定されています。

■ 録画コマ数

1 秒間に記録する録画ファイルのコマ数を選択できます。
30 コマ / 秒、15 コマ / 秒、10 コマ / 秒、5 コマ / 秒

※ 初期値は [30 コマ / 秒] に設定されています。

※ 録画コマ数により 1 ファイルあたりの時間が変化します。(P.64)

■ 音声記録

音声も記録する場合に [ON] にします。

※ 初期値は [ON] に設定されています。

■ 常時録画開始方法

常時録画を開始する方法を選択できます。

電源に連動	ACC を ON すると同時に常時録画を開始します。
録画ボタンに連動	ACC が ON の状態で録画ボタンを押すと常時録画を開始します。

※ 初期値は [電源に連動] に設定されています。

※ 内部電池のみで使用する場合 [電源に連動] に設定していても、常時録画は開始されません。

■ 無線 LAN 切断後録画

無線 LAN を切断した後、録画を継続するか終了するかを選択できます。

録画継続	無線 LAN を切断後も、録画を継続します。
録画終了	無線 LAN を切断すると、録画を終了します。

※ 初期値は [録画継続] に設定されています。

■ 履歴記録周期

1 秒間に記録する履歴記録のコマ数を選択できます。

1 コマ / 秒、2 コマ / 秒

※ 初期値は [1 コマ / 秒] に設定されています。

■ 履歴記録時間

GPS 情報の履歴を記録する時間を選択できます。

24 時間、168 時間、480 時間

※ 初期値は [24 時間] に設定されています。

※ 履歴記録時間を変更するとフォーマットをします。変更を行う場合は必要なデータをパソコンなどに保存してください。

■ 履歴記録方法

GPS 情報の履歴を記録する方法を選択できます。

電源に連動	電源 ON すると同時に GPS 情報を記録します。
常時録画に連動	常時録画を開始すると同時に GPS 情報を記録します。

※ 初期値は [電源に連動] に設定されています。

■ 録画ボタン

録画ボタンの長押し、短押しの動作の切り替えを行います。
どちらかを変更することにより自動で動作が切り替わります。

※ 初期値は [常時録画開始 : 長押し イベント記録開始 : 短押し] に設定されています。

■ 上書きモード

SD カードの空き容量が不足したときの録画ファイルや履歴の保存方法を選択できます。
「ON」または「OFF」から選択します。

ON	SDカードの容量がいっぱいになると古いファイルから順に書き換わります。
OFF	容量がいっぱいになると録画ファイルは保存されません。

※ 初期値はすべての録画方法で [ON] に設定されています。

■ SD カード容量配分

常時録画とイベント記録の SD 容量の配分を変更できます。

常時録画とイベント記録の容量の配分は、0% ～ 100% の範囲で 10% 単位で任意に設定できます。

常時録画 100% の場合：イベント記録はできません。

イベント記録 100% の場合：常時録画はできません。

※ 初期値は [常時録画：90%、イベント記録：10%] に設定されています

※ SD カード容量配分を変更するとフォーマットをします。変更を行う場合は必要なデータをパソコンなどに保存してください。

■ 設定初期化

記録設定項目を工場出荷時の状態にリセットします。

2. 日時設定

■ 設定する

☒ を入れ、日付や時刻を設定することもできます。

※ 本機の電源 ON すると SD カードから読み込み、日時を修正します。

手動設定する場合は、現在時刻ではなく、次に本機の電源 ON する日付や時刻を想定して設定してください。

※ GPS により日時情報を取得し、一度電源 OFF した際に、本体時刻の補正が自動的に行われます。

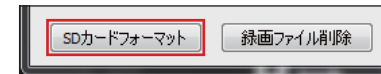
3. SD カードフォーマット

一度 SD カード内のファイルをすべて消去し、必要なファイルを書き戻します。工場出荷時の状態に戻す場合や、SD カードからの読み込みが遅くなった場合に初期化を行ってください。

※ パソコンによる SD カードのフォーマットは行わないでください。本機が正常に動作しなくなる場合があります。フォーマットを行う場合は、専用ソフトで行ってください。

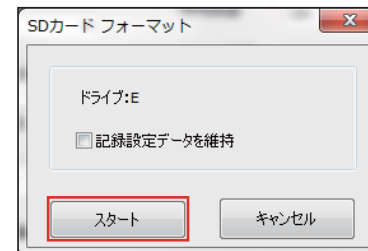
※ 必ず SDHC 規格に対応した SD カードリーダーライターや SDHC 規格に対応したカードスロットを備えたパソコンをご使用ください。SDHC 規格に対応していない場合、SD カードを認識していても初期化やフォーマットが正しくできないことがあります。

3-1 [SD カードフォーマット] をクリックする



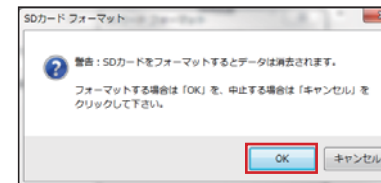
※ [MENU] をクリックし、[SD カード] から [フォーマット] をクリックしても同じ画面表示になります。

3-2 フォーマットの設定をし、[スタート] をクリックする



- ・ ☒ **記録設定データを維持**
SD カードの初期化を行っても、記録設定データを維持します。
- ・ ☒ を外すと工場出荷時の内容に戻り、記録設定データは初期化されます。

3-3 [OK] をクリックする



確認メッセージが表示されます。
中止する場合は、[キャンセル] をクリックします。

3-4 [OK] をクリックする

フォーマットが完了します。

4. 録画ファイル削除

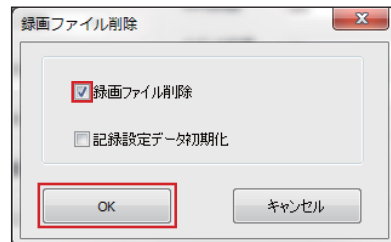
録画ファイル削除をクリックすると [録画ファイル削除] と [記録設定データ初期化] が選択画面に表示されます。

- ・ SD カード内に記録された録画ファイルを削除します。
- ・ いったん削除すると、元には戻せませんのでご注意ください。記録した録画ファイルを保存しておきたい場合は、録画ファイルをパソコンなどの別の場所に保存してください。(P.39)

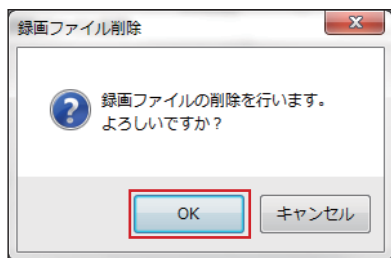
4-1 [録画ファイル削除] をクリックする



4-2 録画ファイル削除に ☒ を入れ [OK] をクリックする

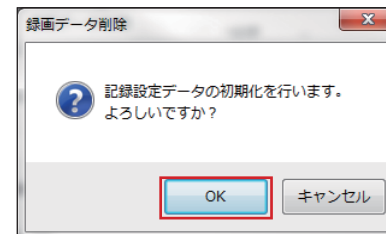


4-3 [OK] をクリックする



4-4 [OK] をクリックする 記録設定画面に戻ります。

5-2 [OK] をクリックする 記録設定画面に戻ります。



6. 専用ソフトを終了する

6-1 専用ソフトの [MENU] を開き [終了] をクリックする 専用ソフトが終了します。



※ 専用ソフト右上の  をクリックしても同様に終了します。

インフォメーション

[MENU] → [インフォメーション] をクリックします。

■ 記録情報

再生している録画ファイルの情報を表示します。

■ バージョン情報

専用ソフトのバージョン情報を表示します。

■ ホームページ

クリックするとコピテルのホームページを開くことができます。

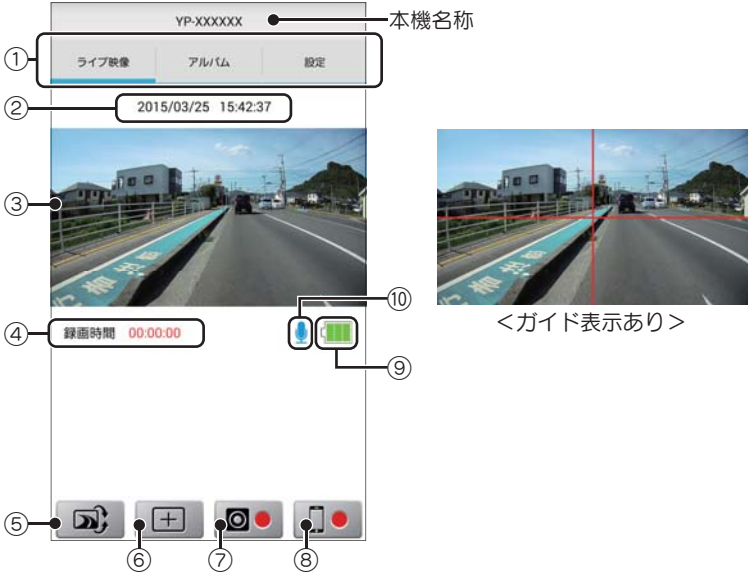
専用アプリについて

本機との接続に成功すると、本機をアプリ上で操作できます。

※ 無線 LAN 接続方法は ● P.21「無線 LAN を ON する」および ● P.21「スマートフォンに接続する」をご確認ください。

※ 専用アプリ [BDR App] で動画を撮影する場合、本機のイベント記録 (● P.27) ができません。あらかじめご了承ください。

1. ライブ映像画面

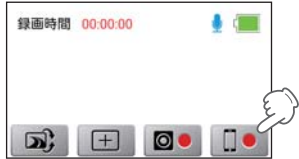


No.	表示名	説明
①	モード切替ボタン	タッチすると動作モードを切り替えます。
②	時間表示	本機の日時を表示します。
③	映像表示	本機で撮影している映像を表示します。 スマートフォンを横に向けると、全画面表示になります。
④	録画時間	録画開始からの記録時間を表示します。
⑤	上下反転ボタン	タッチすると撮影している映像の上下を反転して表示します。
⑥	ガイド表示ボタン	タッチすると、ガイド表示有り / 無しを切り替えます。 ※ ガイドは映像に記録されません。
⑦	本体録画ボタン	タッチすると、本機に録画します。
⑧	スマートフォン録画ボタン	タッチすると、本機で撮影した動画を直接スマートフォンに保存します。 ※本機には保存されません。
⑨	電池残量アイコン	ドライブレコーダーの内部電池容量を段階で表示します。 満充電 : 80 ~ 30% : 30 ~ 10% : 要充電 :
⑩	音声録音アイコン	音声記録の状態を表示します。 音声録音 ON : 音声録音 OFF :

2. スマートフォンへ録画ファイルを保存する

2-1 にタッチする

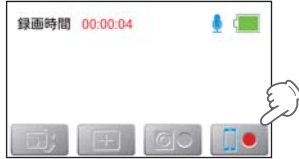
撮影を開始します。



※ スマートフォンアプリで録画した場合、以下の解像度になります。
1080P HD、720P
で設定している場合 : WVGA
(848 × 480)
1080P、VGA
で設定している場合 : SIF
(352 × 240)

2-2 にタッチする

録画を停止し、本機で撮影した録画ファイルをスマートフォンに保存します。



3. 本機に録画ファイルを保存する

3-1 にタッチする

撮影を開始します。



3-2 にタッチする

録画を停止し、本機に撮影した録画ファイルを保存します。

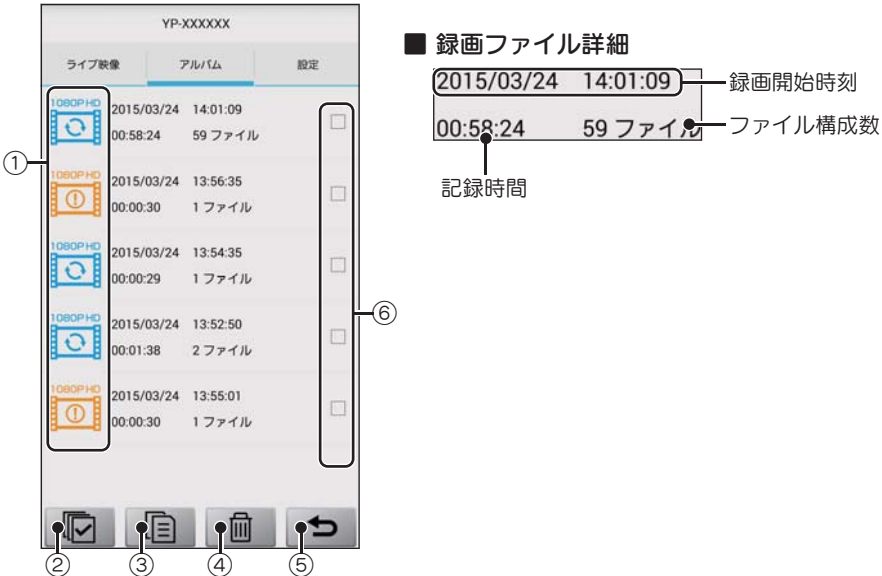


録画ファイルを再生する

アルバムモードでは、本機に記録された録画ファイルをスマートフォンで見ることができます。

1. アルバムモード画面

録画ファイル右の□を選択することで、録画ファイル进行操作できます。



■ 録画ファイル詳細

2015/03/24 14:01:09 録画開始時刻
00:58:24 59 ファイル ファイル構成数
記録時間

No.	表示名	説明
①	ファイルアイコン	記録された録画ファイルサイズ、記録条件によってアイコンが変わります。 ・ 常時録画ファイル 1080P HD 1080P 720P VGA WVGA SIF ・ イベント記録ファイル 1080P HD 1080P 720P VGA ※ WVGA、SIF はスマートフォンで録画した場合のサイズになります。
②	全選択	すべてのファイルを選択します。
③	コピー	選択したファイルをスマートフォンにコピーします。
④	削除	選択したファイルを本機から削除します。
⑤	戻る	アルバムモード画面に戻ります。
⑥	チェックボックス	☒ を入れることにより操作メニューが表示されます。

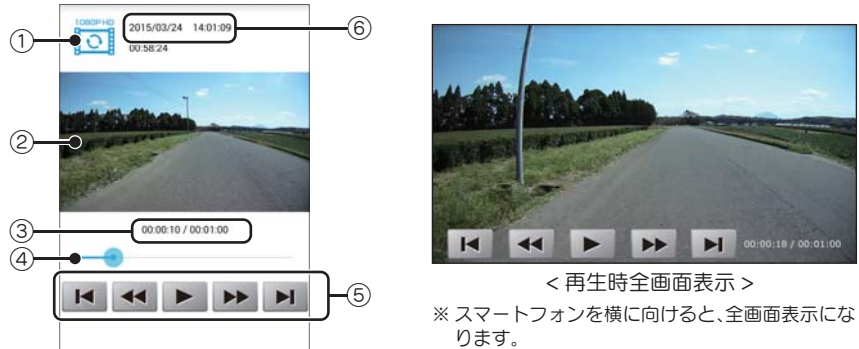
2. 録画ファイルを再生する

2-1 再生する録画ファイルにタッチする

録画ファイルを再生します。



■ 録画ファイル再生画面



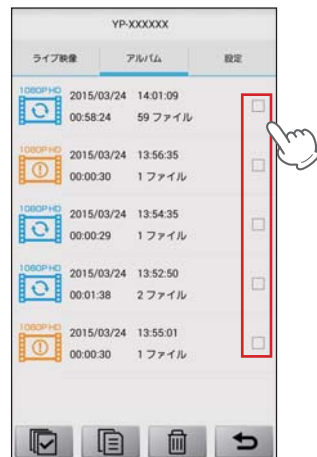
No.	表示名	説明
①	ファイルアイコン	ファイルの種類を表示します。 P.50「ファイルアイコン」
②	映像表示	選択した録画ファイルの映像を表示します。
③	録画時間	現在の再生時間 / ファイル総時間を表示します。
④	タイムライン	タッチした位置から再生できます。
⑤	再生ボタン	◀ : 現在再生中の 1 分単位の前のファイルに移動します。 ◀◀ : 早戻しします。 ▶ : 再生します。 ■ : 停止します。 ▶▶ : 早送りします。 ▶ : 現在再生中の 1 分単位の次のファイルに移動します。
⑥	記録日時	録画ファイルを記録した日時です。

※ 全画面表示時はタイムラインと再生ボタンは見えなくなります。画面をタップすることにより現れます。

録画ファイル进行操作する

1. ファイルをコピーする

1-1 コピーする録画ファイルの □ にタッチする



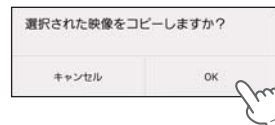
※ 選択すると □ が ☒ になります。

1-2 にタッチする



1-3 [OK] にタッチする

選択したファイルをスマートフォンへコピーします。



・コピー中に [キャンセル] にタッチすると、コピーを中止します。

※ コピーを行っても、SD カード内のコピー元のファイルは削除されません。
(● P.53「ファイルを削除する」)

2. ファイルを削除する

2-1 削除する録画ファイルの □ にタッチする



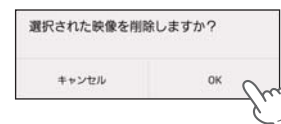
※ 選択すると □ が ☒ になります。

2-2 にタッチする



2-3 [OK] にタッチする

選択したファイルを完全に削除します。



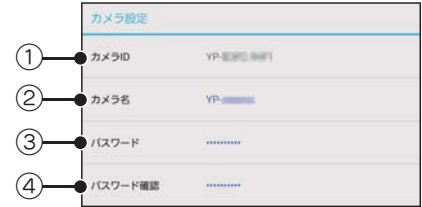
専用アプリで本機の設定を変更する

アルバムモードでは、本機に記録された録画ファイルをスマートフォンで見ることができます。

・各項目の初期設定値は P.25 を参照ください。

1. 設定を変更する

■ カメラ設定



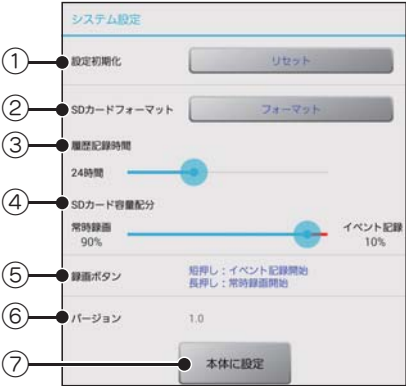
No.	表示名	内 容
①	カメラ ID	本機の固有の ID を表示します。
②	カメラ名	本機に名称を設定できます。 ※ 先頭文字の [YP-] 固定です。
③	パスワード	次回アプリで接続するときにパスワードを設定できます。 (初期値：設定なし)
④	パスワード確認	パスワードの確認のため「③/パスワード」と同じ文字を入力します。

■ 録画設定



No.	表示名	内 容
①	解像度	撮影する録画ファイルのサイズを設定します。 1080P HD(1920 × 1080)、1080P(1440 × 1080)、720P(1280 × 720)、VGA(640 × 480)
②	録画コマ数	録画コマ数を設定します。 30 コマ / 秒、15 コマ / 秒、10 コマ / 秒、5 コマ / 秒
③	音声記録	音声録音の ON/OFF を設定します。
④	常時録画開始方法	エンジンキー連動で録画開始の ON/OFF を設定します。
⑤	無線 LAN 切断後録画	無線 LAN 切断後の録画継続の ON/OFF を設定します。
⑥	上書きモード	常時録画 空き容量不足時、常時録画ファイルの上書きを ON/OFF で設定します。
	イベント記録	空き容量不足時、イベント記録ファイルの上書きを ON/OFF で設定します。
	履歴記録	空き容量不足時、履歴記録ファイルの上書きを ON/OFF で設定します。
⑦	履歴記録周期	1 秒間に記録する履歴記録のコマ数を選択できます。
⑧	履歴記録方法	履歴を記録する方法を設定します。 電源に連動：電源 ON すると同時に GPS 情報を記録します。 常時録画に連動：常時録画が開始すると同時に GPS 情報を記録します。

■ システム



No.	表示名	内 容
①	設定初期化	本機の設定を初期化します。(● P.42)
②	SD カードフォーマット	SD カードのフォーマットができます。(● P.57)
③	履歴記録時間	履歴を記録する時間を設定します。 24 時間、168 時間、480 時間
④	SD カード容量配分	常時録画とイベント記録の SD カード内容量配分を 0 ～ 100% の範囲で 10% 単位で任意に設定できます。(● P.44)
⑤	録画ボタン動作	録画ボタンの長押し、短押しの動作を切り替えます。
⑥	バージョン	本アプリのバージョンを示します。
⑦	本体に設定	本体に設定を反映します。

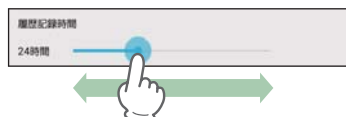
2. 履歴記録時間を変更する

履歴記録時間の値を変更し、フォーマットします。

※ 履歴記録時間の値は、24 時間、168 時間、480 時間に設定できます。

※ 必要な録画ファイルを保存しておきたい場合は、録画ファイルをパソコンなどに保存してから行ってください。

- 2-1 ● を左右にずらし、履歴記録時間の値を変更し、[本体に設定] にタッチする

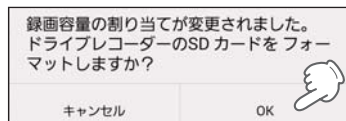


- 2-2 [OK] にタッチする



- 2-3 [OK] にタッチする

履歴時間が変更されます。



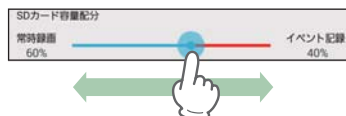
3. SD カード容量の割り当てを変更する

常時録画とイベント記録のSD カード容量の割り当てを設定し、フォーマットします。

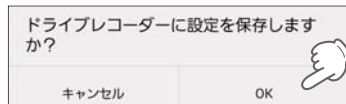
※ 常時録画とイベント記録の容量の割り当ては、0% ~ 100% の範囲で任意に設定できます。

※ 必要な録画ファイルを保存しておきたい場合は、録画ファイルをパソコンなどに保存してから行ってください。

- 3-1 ● を左右にずらし、SD カード容量を割り当て、[本体に設定] にタッチする

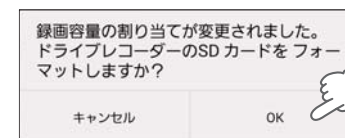


- 3-2 [OK] にタッチする



- 3-3 [OK] にタッチする

容量の割り当てが変更されます。



4. SD カードフォーマット

SD カードをフォーマットします。

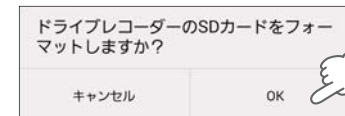
※ 必要な録画ファイルを保存しておきたい場合は、録画ファイルをパソコンなどに保存してから行ってください。

- 4-1 [フォーマット] にタッチする



- 4-2 [OK] にタッチする

フォーマットされます。



5. 設定初期化

本機の設定を初期化し、工場出荷時の状態に戻します。

- 5-1 [リセット] にタッチする



- 5-2 [OK] にタッチする

初期化されます。



録画ファイルの読み出しについて

本機で録画した録画ファイルは、通常のファイルと同じようにパソコンで扱うことができます。下記の仕様を満たしたパソコンで再生することができます。

OS : Microsoft Windows 7 または 8
CPU: Core2Duo 相当、2.0GHz 以上
メモリ : 2GB 以上

- ※ 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- ※ 再生する動画の種類によっては処理能力が高いパソコンが必要になります。お使いになるパソコン環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。
- ※ CPU やメモリが動作環境に満たない場合、再生時の動作が遅くなることがあります。
- ※ ご使用の SD カード容量に対応していない SD カードリーダーライターを使用した場合、SD カード内のファイルが破損することがあります。

■ ファイル名について

ファイル番号は、記録した順に本機で自動設定されます。

例 20150324135501 _ 0000 .mp4— 動画

ファイル番号
記録日時
(記録した年、月、日、時間)

■ フォルダ構造について

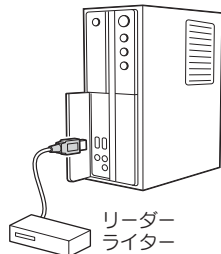
各ファイルは、下記のフォルダ構造で保存されています。

SD カード — NORMAL — 20150324135501_0000 .mp4

EVENT — 20150324135926_0000 .mp4

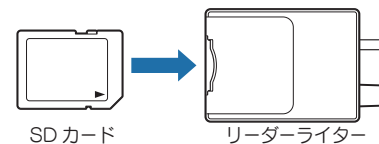
1. SD カードを直接パソコンと接続する

1-1 リーダーライターをパソコンに接続する

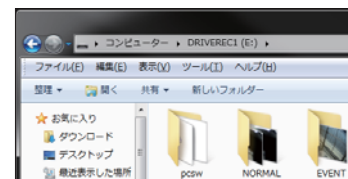


※ SD カードを直接接続できるパソコンの場合は、リーダーライターを接続する必要はありません。

1-2 SD カードをリーダーライターに接続する

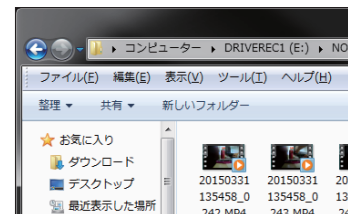


1-3 SD カードを開き、再生したいファイルがあるフォルダを開く



- ・ 常時録画 ...
「NORMAL」フォルダを開いてください。
- ・ イベント記録 (ワンタッチ記録) ...
「EVENT」フォルダを開いてください。

1-4 録画ファイルをダブルクリックする



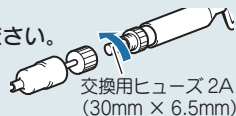
- ・ Windows 標準の Windows Media Player で再生することができます。

故障かな？と思ったら

電源が入らない

- ☐ 電源コードが外れていないか確認してください。
- ☐ ヒューズケーブルのヒューズが切れていないか確認してください。

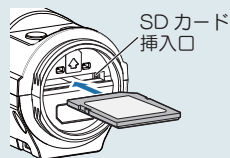
ヒューズホルダーを押しながら図の矢印の方向に回してヒューズを取り出します。
切れている場合は、同じ容量(2A)の新しいヒューズと交換してください。



本機で映像が記録できない

- ☐ SD カードが正しく挿入されていますか。

SD カードが正しく挿入されていないときなどは正常に起動できません。
車両のエンジンを OFF し、SD カードを抜き取り、再度正しく挿入してください。



- ☐ 記録設定の上書きモードが OFF になっていませんか。

上書きモードが OFF の場合上書きができません。SD カードを取り出し、設定を変更します。
・専用ソフトから変更する。(●P.44)
・専用アプリから変更する。(●P.55)

- ☐ 本機の無線 LAN が ON になっていませんか。

スマートフォンアプリと接続中は、本機での録画ボタンの操作ができません。(●P.21)
スマートフォンアプリを終了し、本機の無線 LAN 接続を切ってください。(●P.23)

- ☐ 内部電池のみで使用していませんか。

内部電池のみで使用の場合、本機の常時録画開始方法を [電源に連動] の場合でも常時録画が開始されません。(●P.23)

記録した録画ファイルがパソコンで映らない

- ☐ 専用ソフトがインストールされていますか。

同梱品の SD カード内に保存されている専用ソフトをインストールしてください。(●P.29)

SD カードに録画ファイルが保存されていない

- ☐ 録画ファイルのバックアップ等を行い、専用ソフトまたは専用アプリで SD カードをフォーマットしてください。

・専用ソフトから変更する。(●P.44)
・専用アプリから変更する。(●P.57)

- ☐ SD カードは消耗品です。定期的に新品に交換してください。

速度が表示されない

GPS が測位されていないと速度は表示されません。

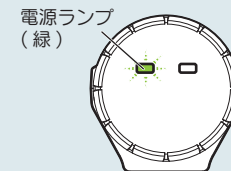
ビルの谷間など視界の悪い場所では 20 分以上時間がかる場合があります。障害物や遮へい物の無い視界の良い場所へ移動し、車を停車して GPS 信号を受信してください。



本機の無線 LAN につながらない

- ☐ 無線 LAN が OFF になっていませんか？

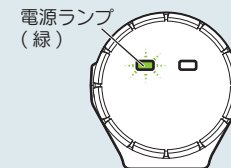
電源ランプ (緑) の状態を確認してください。(●P.28)
録画ボタンを長押し (3 秒以上) し、録画を停止させた後電源ボタンを短押しし無線 LAN を ON にしてください。



専用アプリで録画ファイルが記録できない

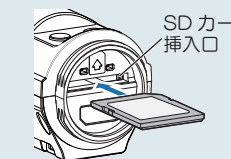
- ☐ 無線 LAN が OFF になっていませんか？

電源ランプ (緑) の状態を確認してください。(●P.28)
録画ボタンを長押し (3 秒以上) し、録画を停止させた後電源ボタンを短押しし、無線 LAN を ON にしてください。



- ☐ SD カードが正しく挿入されていますか。

SD カードが正しく挿入されていないときなどは正常に起動できません。
車両のエンジンを OFF し、SD カードを抜き取り、再度正しく挿入してください。



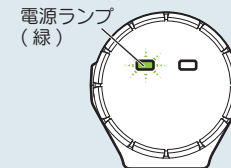
- ☐ 記録設定の上書きモードが OFF になっていませんか。

上書きモードが OFF の場合上書きができません。
専用アプリで設定を変更します。(●P.55)

専用アプリで録画ファイルが再生できない

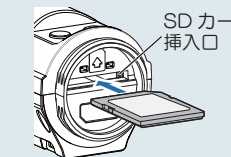
- ☐ 無線 LAN が OFF になっていませんか？

電源ランプ (緑) の状態を確認してください。(●P.28)
録画ボタンを長押し (3 秒以上) し、録画を停止させた後電源ボタンを短押しし無線 LAN を ON にしてください。

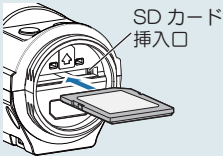
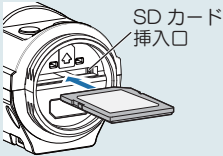
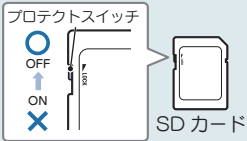


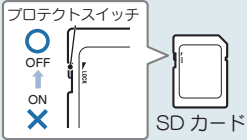
- ☐ SD カードが正しく挿入されていますか。

SD カードが正しく挿入されていないときなどは正常に起動できません。
車両のエンジンを OFF し、SD カードを抜き取り、再度正しく挿入してください。



エラー表示一覧

ランプの状態	症状・対処法
録画 青 青 青 青 ランプ 消灯 消灯 消灯 消灯 電源 赤 赤 ランプ 消灯 消灯 消灯 消灯 両方のランプが長い点滅	SD カードが正しく挿入されていません。 SD カードが正しく挿入されていないときなどは正常に起動できません。 車両のエンジンを OFF し、同梱品の SD カードを抜き取り、再度正しく挿入してください。 
録画 青 青 青 青 ランプ 消灯 消灯 消灯 消灯 電源 赤 緑 赤 緑 ランプ 消灯 消灯 消灯 消灯 録画ランプが長い点滅 電源ランプが赤と緑の長い交互点滅	SD カードが正しく挿入されていません。 SD カードが正しく挿入されていないときなどは正常に起動できません。 車両のエンジンを OFF し、同梱品の SD カードを抜き取り、再度正しく挿入してください。 ・無線 LAN が ON のため専用アプリで映像の確認、記録は可能です。 (● P.48「専用アプリについて」) 
録画 青 青 青 青 ランプ 消灯 消灯 消灯 消灯 電源 赤 赤 赤 赤 ランプ 消灯 消灯 消灯 消灯 両方のランプが2回連続点滅	□ SD カードのプロテクトスイッチが ON(書き込み禁止)になっていますか。 車両のエンジンを OFF して、同梱品の SD カードを抜き取り、プロテクトスイッチを OFF にして、再度正しく挿入してください。  □ SD カードの容量が不足しています。 上書きモードを [OFF] にすると、各録画方法のデータ容量が上限に達した場合、その録画方法での録画を停止します。 頻繁にエラーが出る場合は、以下を確認してください。 ・専用ソフトまたは専用アプリで「上書きモード」を [ON] にする。 専用ソフトで変更する。(● P.44)、専用アプリで変更する。(● P.55) ・専用ソフトまたは専用アプリで「解像度」や「録画コマ数」を変更する。 専用ソフトで変更する。(● P.42)、専用アプリで変更する。(● P.55) ・容量が大きい SD カードで録画する。(● P.65) □ SD カードを専用ソフトまたは専用アプリでフォーマットしてください。 ・専用ソフトで変更する。(● P.44)、専用アプリで変更する。(● P.57)

ランプの状態	症状・対処法
録画 青 青 青 青 ランプ 消灯 消灯 消灯 消灯 電源 赤 緑 赤 緑 赤 緑 赤 ランプ 消灯 消灯 消灯 消灯 消灯 消灯 消灯 録画ランプが2回連続点滅 電源ランプが赤緑赤が3回連続点滅し緑の長い点滅	□ SD カードのプロテクトスイッチが ON(書き込み禁止)になっていますか。 車両のエンジンを OFF して、同梱品の SD カードを抜き取り、プロテクトスイッチを OFF にして、再度正しく挿入してください。  □ SD カードの容量が不足しています。 上書きモードを [OFF] にすると、各録画方法のデータ容量が上限に達した場合、その録画方法での録画を停止します。 頻繁にエラーが出る場合は、以下を確認してください。 ・専用ソフトまたは専用アプリで「上書きモード」を [ON] にする。 専用ソフトで変更する。(● P.44)、専用アプリで変更する。(● P.55) ・専用ソフトまたは専用アプリで「解像度」や「録画コマ数」を変更する。 専用ソフトで変更する。(● P.42)、専用アプリで変更する。(● P.55) ・容量が大きい SD カードで録画する。(● P.65) □ SD カードを専用ソフトまたは専用アプリでフォーマットしてください。 ・専用ソフトで変更する。(● P.44)、専用アプリで変更する。(● P.57) ・無線 LAN が ON のため専用アプリで映像の確認、記録は可能です。 (● P.48「専用アプリについて」)
録画 青 青 青 青 ランプ 消灯 消灯 消灯 消灯 録画ランプのみ2回連続点滅	常時録画に対する SD カード容量が不足しています。 上書きモードを [OFF] にすると、常時録画の録画ファイルが上限に達した場合、常時録画を停止します。 頻繁にエラーが出る場合は、以下を確認してください。 ・専用ソフトまたは専用アプリで「上書きモード」を [ON] にする。 専用ソフトで変更する。(● P.44)、専用アプリで変更する。(● P.55) ・専用ソフトまたは専用アプリで「解像度」や「録画コマ数」を変更する。 専用ソフトで変更する。(● P.42)、専用アプリで変更する。(● P.55) ・容量が大きい SD カードで録画する。(● P.65)
録画 青 青 青 青 ランプ 消灯 消灯 消灯 消灯 録画ランプのみ3回連続点滅	イベント記録に対する SD カード容量が不足しています。 上書きモードを [OFF] にすると、イベント記録の録画ファイルが上限に達した場合、イベント記録を停止します。 頻繁にエラーが出る場合は、以下を確認してください。 ・専用ソフトまたは専用アプリで「上書きモード」を [ON] にする。 専用ソフトで変更する。(● P.44)、専用アプリで変更する。(● P.55) ・専用ソフトまたは専用アプリで「解像度」や「録画コマ数」を変更する。 専用ソフトで変更する。(● P.42)、専用アプリで変更する。(● P.55) ・容量が大きい SD カードで録画する。(● P.65)
録画 青 青 青 青 ランプ 消灯 消灯 消灯 消灯 電源 赤 赤 赤 赤 ランプ 消灯 消灯 消灯 消灯	機器の異常です。 すぐに使用を中止し、お買い上げの販売店またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。(● P.66「アフターサービス」)

仕様

電源電圧	DC 12V/24V (マイナスアース車専用)
消費電力	4 W
カメラ素子	200万画素 カラー CMOS
視野角※	レンズ画角: 対角154.8° (水平 121.3°、垂直 62°) 最大記録画角: 対角154.8° (水平 121.3°、垂直 62°)
記録解像度	200万画素
画像サイズ	1080P HD (1920×1080)、1080P (1440×1080)、 720P (1280×720)、VGA (640×480)
画質	HDR (ハイダイナミックレンジ)
録画ファイル構成	常時録画: 1分(30 コマ/秒)、3分(10、15 コマ/秒)、 5分(5コマ/秒)単位 イベント記録: 30秒単位
最低被写体照度	1LUX (ルクス)
記録媒体	SDHC カード (8GB同梱)
記録形式	MP4
録画コマ数	30、15、10、5 コマ/秒
防水の種類	IP 55相当
動作温度範囲	-10℃ ~ +60℃
外形寸法	42(W)× 44(H)×107(D) mm (突起部除く)
重量	約214g (SDカード、電源ケーブル含む)

※ 解像度により記録される視野角が変化します。
※ 広角レンズの為、視野角の水平・垂直と対角の比率は異なります。
※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
※ この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。
なお、本文中では TM、®マークは明記していません。

取扱説明書は随時更新されます。最新版の取扱説明書は当社ホームページにてご確認ください。
<http://www.yupiteru.co.jp/>

SD カード対応一覧表

※ 本機と同梱品以外の SD カードの相性による動作の不具合については保証いたしかねます。

記録媒体	SDHC カード
容量	8 ~ 32GB
SD スピードクラス	Class 10 以上

※ スピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。

1. 録画時間の目安

SD カード容量	1080P HD	1080P	720P	VGA
32GB	約 296 分	約 360 分	約 480 分	約 1480 分
16GB	約 148 分	約 180 分	約 240 分	約 740 分
8GB(同梱品)	約 74 分	約 90 分	約 120 分	約 370 分

- ・ 上記値は目安で、絶対保証値ではありません。
- ・ 録画時間は、常時録画とイベント記録 (ワンタッチ記録) のすべての録画時間の合計です。

・ お使いの状況、被写体や周囲環境などの要因、解像度 (専用ソフト ● P.42、専用アプリ ● P.54) により録画可能時間は変化します。

2. イベント記録の最大記録件数

SD カード容量	1080P HD	1080P	720P	VGA
32GB	約 48 件	約 72 件	約 72 件	約 148 件
16GB	約 24 件	約 36 件	約 36 件	約 74 件
8GB(同梱品)	約 12 件	約 18 件	約 18 件	約 37 件

- ・ 上記値は目安で、絶対保証値ではありません。
- ・ 上記値は初期値 (イベント記録 : 10%) で記録した場合の最大記録件数です。

